

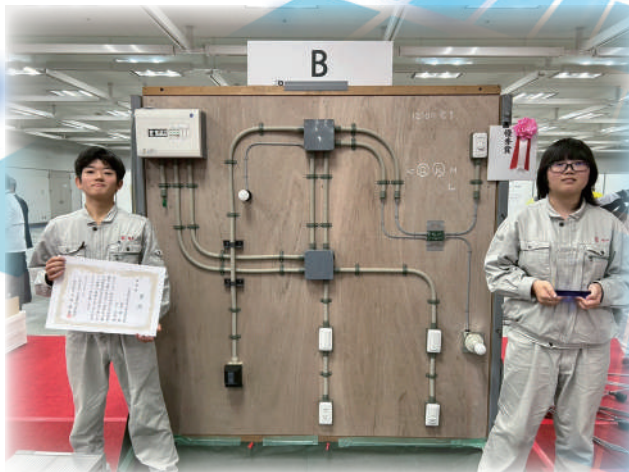
saka Kyokai engyo

2026.3
No.180
SPRING

報告 2026年 新春賀詞交歓会
関西の未来を支える決意を新たに

特集 第53回 電気工事士技能競技大会
「省エネ・省施工」の課題に挑戦!

報告 大阪府(OSAKAしごとフィールド)との連携
行政と連携して、業界の魅力を発信



あなたの自慢ショットを募集

第8回 フォト自慢

募集期間

4/1~
7/31

結果発表:
会報2026年9月号

あなたが撮った何気ないワンショットが、
私たちの暮らしを支えるすごく大切なものを表現しているかもしれません。
あって当たり前の電気、なくてはならない電気、暮らしに欠かせない電気を写真で表現してみませんか。



応募作品の中から、広報委員会メンバーの「これは、いいね!」を一番たくさん集めた作品が「自慢大賞」となります。

2位 5,000円 3位 3,000円

参加賞 1,000円 先着20名限定

1位~3位は商品券orギフトカード、参加賞はギフトカードを贈呈いたします。

テーマ

「電気設備のある暮らし」「電気設備をつくる人々」「電気設備をまもる人々」

応募方法



左のQRコード、もしくは協会ホームページの「フォト自慢」コーナーから、お気に入りのワンショットを投稿してください。

ファイル形式:jpg

ファイルサイズ:5MBまで

自慢ルール

- おひとりでご応募していただいても構いませんが、ご自身が撮影した写真に限定してください。
- 応募いただく際は、30~50文字で「ここ見て」と思うポイントを記載してください。
- 応募後も作品の著作権は応募者にあります。使用権は大阪電業協会(以下、本会)が有します。
- 投稿写真は、必ず被写体の承諾および使用許可を得てください。応募者と被写体およびその関係者の間で何らかの紛争が発生した場合、本会は一切の責任を負いかねます。
- 内容が下記に相当すると判断した場合、本会は何ら通知などを行わずに、フォト自慢の対象外とすることができるものとします。
 - 自慢ルールに反するもの。
 - 公序良俗に反し、または反する恐れのあるもの。
 - 第三者の著作権、肖像権その他の権利を侵害し、または侵害する恐れのあるもの。
 - 第三者を誹謗中傷し、またそのプライバシーを侵害するもの。法令等に違反し、または犯罪行為に結びつくもの。また、それらの恐れのあるもの。当フォト自慢の趣旨などに合わない場合と本会が判断したもの。
 - 当フォト自慢の適正な運営を妨げるもの。また、その恐れのあるもの。
 - 応募作品のデータが判読不能なもの。

会員の皆さまからの
応募をお待ちして
おります。





CONTENTS

2026.3 No.180 SPRING

一般社団法人 大阪電業協会 会報

表紙を飾るのは、昨年(2025年)10月に開催された第53回電気工事士技能競技大会 一般の部・高校生の部それぞれの上位入賞選手です。大会当日の様子や結果については、P20からの記事をご覧ください。

大阪電業協会の組織と委員会メンバー

2

総務委員会

2026年 新春賀詞交歓会

報告

関西の未来を支える 決意を新たに

4

2025年度 永年勤続者表彰

社業を通じて電設業界の発展に貢献

7

令和7年度「優秀建設施工者」大阪府知事表彰

業界の模範となる施工者の功績を称えて

9

トピックス

万博TDMパートナー

大阪・関西万博の“おもてなし”に貢献

10

経営委員会

働き方改革共同要請活動

働き方改革推進の申入れ活動を展開

11

公共工事発注機関との意見交換

受発注者が手を携え、働き方改革を推進

12

青年部会

2025年度 会員企業向け研修

若手社員の価値観を理解する

14

2025年度 デイキャンプ活動

One for All, All for One

15

2025年度 レクリエーション活動

会員相互の交流と親睦を図る

16

中小部会

中小部会若年退職者の防止策

退職防止あの手この手 マルヤ電気株式会社

17

中小部会「リスク発生時の対応」研修

労働災害発生直後の実践を学ぶ

18

技術・技能委員会

第53回 電気工事士技能競技大会

特集

「省エネ・省施工」の 課題に挑戦!

20

資材部会

第33回 会員企業見学会

人材育成や体系的な教育への熱意を感じとる見学

25

労務・安全委員会

2025年度 登録電気工事基幹技能者認定講習

技能労働者の目標像としての活躍を期待!

26

2025年度 職長教育

技能労働者ステップアップの登竜門

27

人材部会

2025年度 電気設備業界 Presents 就活応援イベント

年度2回目の開催にチャレンジ!

28

学校関係者との意見交換

学生に選ばれる魅力ある業界づくりを推進

31

大阪府(OSAKAしごとフィールド)との連携

報告

行政と連携して、 業界の魅力を発信

33

広報委員会

第32回 電気工学系大学生施設見学

ゼロカーボンベースボールパークで施設見学を開催

～技術者たちの知恵と努力の結晶を体感～

35

あなたの自慢のショットを募集「第7回フォト自慢」

これは、いいね!…「自慢大賞」発表

36

読み物



歴史と文化の息づかいを感じる街

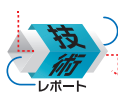
「東京都文京区」

三宝電機株式会社 嘉納 秀憲 40



実業団駅伝の“ミカタ”

エクシオグループ株式会社 関西支店 田中 幸治 42



製造業支援ソリューション

「グロサポ」の構築と市場展開

住友電設株式会社 大橋 正和 44

理事会だより

47

会員往来

52

新規会員の紹介

53

2026年度 主要行事予定

54

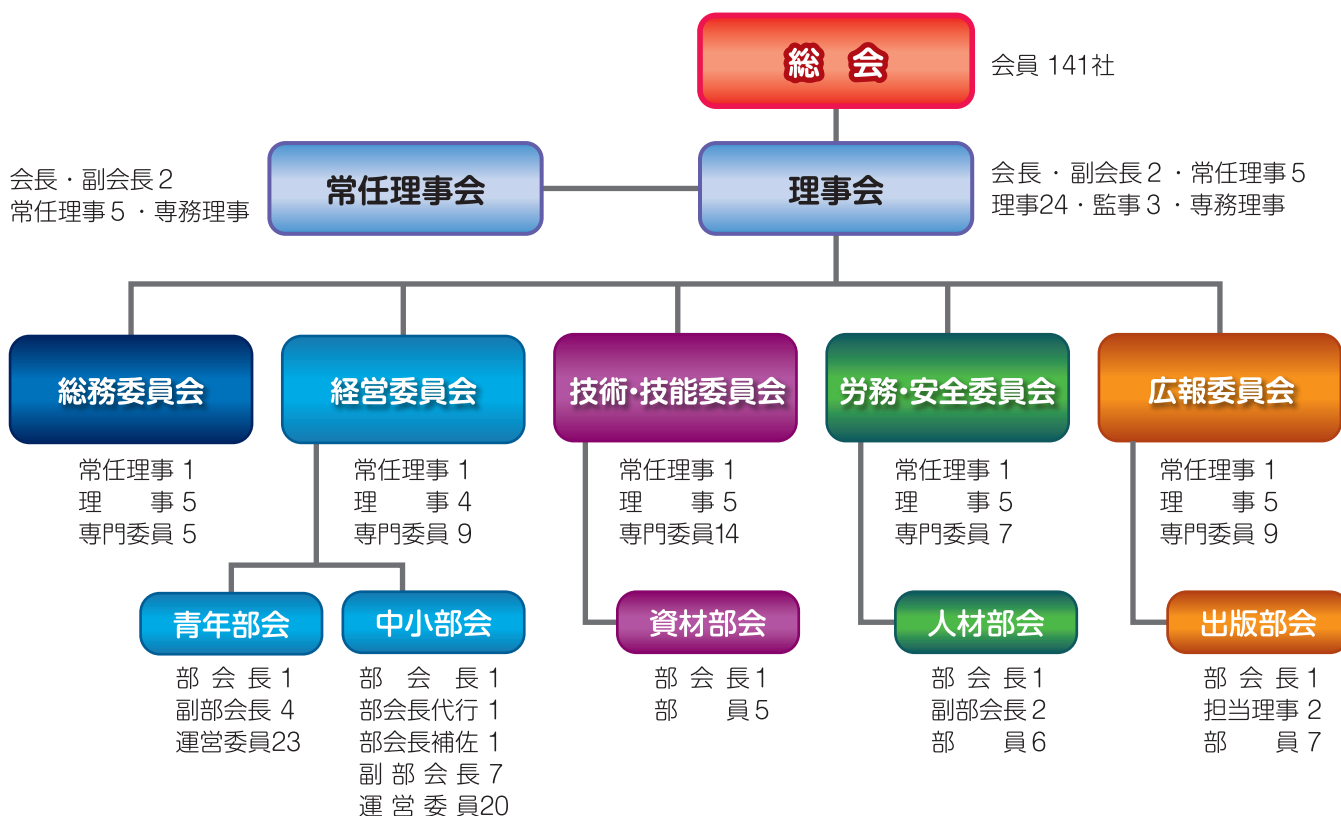
知オク! 情報 ~国や地方自治体が発信している情報を、
どれだけご存知ですか?~ 55

会員諸変更届/編集後記

大阪電業協会の組織と委員会メンバー

2026年3月31日現在

会長 上坂 隆 勇 (株)きんでん
 副会長 谷 信 (住友電設(株))
 副会長 横井 正 温 (栗原工業(株))



総務委員会	委員長 (常任理事)	富永 昌雄 (八千代電設工業(株))	専門委員	藤井 勇人 (野里電気工業(株))
	理事	坂本 恵一 (近畿設備(株))	専門委員	辻本 洋克 (辻本総合設備(株))
	理事	橋本 博司 (旭電設(株))	専門委員	長谷 陽子 (栗原工業(株))
	理事	遠竹 泰 (株)ミライト・ワン	専門委員	川部真太郎 (住友電設(株))
	理事	藤川 雅浩 (野里電気工業(株))	専門委員	笠井 善仁 (八千代電設工業(株))
	理事	嘉納 秀憲 (三宝電機(株))		

経営委員会	委員長 (常任理事)	佐藤 守良 (株)きんでん	専門委員	廣畑 善光 (東海電設(株))
	理事	西尾 崇 (株)西尾電設	専門委員	渡部 憲一 (株)ワタベ
	理事	瀧 宏之 (栗原工業(株))	専門委員	小寺 正教 (株)きんでん
	理事	北詰 雅亮 (朝陽電気(株))	専門委員	小松原一郎 (日本電設工業(株) 大阪支店)
	理事	小林 均 (住友電設(株))	専門委員	今西 央 (住友電設(株))
	専門委員	福田 広和 (栗原工業(株))	専門委員	奥村 孝 (株)きんでん
	専門委員	平田 勝久 (八千代電設工業(株))	専門委員	濱田 優紀 (栗原工業(株))

青年部会	部会長	1名	福祉委員会	6名
	副部会長	4名	実務委員会	6名
	総務委員会	5名	交流委員会	6名

中小部会	部会長	1名	副部会長	7名
	部会長代行	1名	運営委員	20名
	部会長補佐	1名		

技術・技能委員会

委員長 (常任理事)	森 博明 (三和電気土木工事株)	専門委員	小西 修一 (中央電設株)
理事	伊藤 禎宏 (小松電気工業株)	専門委員	杉本 良太 (栗原工業株)
理事	草富 保博 (株HEXEL Works 大阪支店)	専門委員	居安 正智 (住友電設株)
理事	三好 泰弘 (株クラフティア 関西支店)	専門委員	二井屋田浩 (ダイダン株 大阪本社)
理事	鈴木 桂 (東光電気工事株 関西支社)	専門委員	矢野 義和 (野里電気工業株)
理事	黒瀬 弘幸 (株中電工 大阪本部)	専門委員	大鹿 徳夫 (浅海電気株)
専門委員	満手 貴光 (八千代電設工業株)	専門委員	山田 隆司 (株クリハラント)
専門委員	藤田 雅之 (三宝電機株)	専門委員	柿原 寛昭 (三和電気土木工事株)
専門委員	請川 裕則 (株ミライト・ワン)	専門委員	乾 秀和 (トーヨー電気工事株)
専門委員	佐伯由加志 (三機工業株 関西支社)	専門委員	平井 明 (株きんでん)

資材部会

部会長 (常任理事)	嶋田 雅景 (株クリハラント)	部員	井手 隆夫 (住友電設株)
部員	伊藤 高生 (ダイダン株 大阪本社)	部員	竹尻 知親 (栗原工業株)
部員	岡田 靖彦 (株きんでん)	部員	東 秀憲 (浅海電気株)

労務・安全委員会

委員長 (常任理事)	嶋田 雅景 (株クリハラント)	専門委員	西 孝治 (中央電設株)
理事	濱田 厚男 (浜田電気工業株)	専門委員	佃 浩司 (住友電設株)
理事	岩本 浩一 (株キンコー)	専門委員	國谷 謙次 (株きんでん)
理事	岡田 康彦 (中央電設株)	専門委員	古川 雄介 (株キンコー)
理事	田中 幸治 (エクスオグループ株 関西支店)	専門委員	沼田 正寛 (旭日電気工業株 大阪支店)
理事	八木 一夫 (株トーエネック 大阪本部)	専門委員	齊藤 岳志 (東光電気工事株 関西支社)
専門委員	西谷 昌悟 (株クリハラント)		

人材部会

部会長 (理事)	岩本 浩一 (株キンコー)	部員	仙崎 哲也 (近畿設備株)
副部会長	乾 克彦 (三和電気土木工事株)	部員	原 宗一郎 (株クリハラント)
副部会長	由井 秀洋 (栗原工業株)	部員	中尾 剛 (住友電設株)
部員	花市 竜章 (三栄電気工業株)	部員	辰巳 哲也 (株きんでん)
部員	高松 光示 (中央電設株)		

広報委員会

委員長 (常任理事)	★早坂 稔 (浅海電気株)	専門委員	★田中健太郎 (株きんでん)
理事	一瓢 秀次 (三栄電気工業株)	専門委員	熊迫 仁士 (住友電設株)
理事	井下 智仁 (株関電工 関西支店)	専門委員	★小林 健一 (三宝電機株)
理事	★植谷 信之 (日本ファシリオ株 大阪本店)	専門委員	★奥村 武央 (浅海電気株)
理事	林 拓司 (ダイダン株 大阪本社)	専門委員	★永守 将輝 (株関電工 関西支店)
理事	★山中 幸一 (日本電設工業株 大阪支店)	専門委員	★中山 和明 (ダイダン株 大阪本社)
専門委員	★田中 晋策 (三栄電気工業株)	専門委員	幸堀 真樹 (日本ファシリオ株 大阪本店)
専門委員	★丸谷 良美 (マルヤ電気株)		

★は出版部会メンバー

監事

板東 秀明 (宮崎綜合法律事務所)
安藤 一彦 (藤井電気工事株)
小原 秀敏 (株四電工 大阪本部)

委員会・部会活動
よろしくお願ひします



報告

関西の未来を支える決意を新たに



1月19日(月) 17時30分から、シェラトン都ホテル大阪(大阪市天王寺区)「浪速の間」において、日本電設工業協会 関西支部と大阪電業協会との共催による新春賀詞交歓会を開催しました。

当日は3月下旬並みの穏やかな気候のもと、行政機関や関係団体からのご来賓、ならびに会員企業を合わせて約400名が出席し、電気設備業界のさらなる発展を祈念しました。

賀詞交歓会は、総務委員会 辻本 洋克専門委員の司会によりスタートしました。

主催者を代表して、上坂 隆勇 日本電設工業協会関西支部長・大阪電業協会会長が挨拶に立ち、大阪・関西万博終了後も関西の未来を切り拓く新たなプロジェクトが控えている中、インフラを支え、電力の安定供給の一翼を担う電気設備業界の役割と重要性は、今後ますます高まっていくとの認識を示しました。

また、昨年12月に施行された「第三次・担い手3法」に

- 日 時 2026年1月19日(月) 17:30~19:00
- 場 所 シェラトン都ホテル大阪 4階「浪速の間」
- 参加者 約400名

触れ「労働者の処遇確保」「資材価格高騰に伴う労務費へのしわ寄せ防止」「働き方改革と生産性向上」といった課題に対し、業界全体で着実に取り組む必要性を強調しました。これらの取り組みを通じて、若手入職者の増加と定着を図り、業界の持続的成長につなげていきたいとの決意が述べられました。

続いて、ご来賓を代表して、国土交通省近畿地方整備局 営繕部長 頼本 欣昌様、ならびに経済産業省中部近畿産業保安監督部 近畿支部長 苦瓜 作様からご祝辞を頂戴しました。その後、谷 信副会長の発声により乾杯が行われ、和やかな歓談の場となりました。

19時には、横井 正温副会長が中締め挨拶を行い、盛会のうちに閉会しました。



谷副会長 乾杯



横井副会長 閉会の辞

挨拶 (一社)日本電設工業協会 上坂関西支部長 (一社)大阪電業協会 上坂会長

(全文)



会員の皆様におかれましては、ご家族とともに、健やかな新年を迎えられたことと思います。

大阪電業協会並びに日本電設工業協会 関西支部賀詞交歓会の開催にあたり、ご挨拶を申し上げます。

本日は、会員の皆様には多数ご出席をいただき、また日頃より本会事業活動へのご理解・ご協力をいただき誠にありがとうございます。

また、公務ご多忙の中、ご来賓として、国土交通省 近畿地方整備局宮総部様、経済産業省 中部近畿産業保安監督部近畿支部様、大阪府都市整備部住宅建築局様をはじめ、関係官公庁・関係団体の多くの皆様にご臨席を賜り、厚く御礼を申し上げます。

さて、私たちを取り巻く環境として、国内外における政局の変化、円安、金利、人手不足といった経済動向等を注視する必要がありますが、総じて設備投資は堅調に推移しており、建設業界においても底堅い需要が続いている状況と言えます。

そして、昨年開催されました大阪・関西万博では、会場

建設を含め、準備に携わられた皆様の努力が実を結び、来場者数2,900万人を数え、成功裡に閉幕しました。この一大イベントによって、大阪・関西の魅力の世界に向けて、大いに発信することができたと思います。そして大きなレガシーとして、有形無形の財産とすることができました。

さらに今後に目を向けますと、統合型リゾート (IR) をはじめ、新たな関西の未来を拓くプロジェクトが次々と控えております。

このように、インフラを支え、電力安定供給の一翼を担う私たち電気設備工事業界としましては、その役割の重要性が益々高まっており、これら多くの需要に対し、しっかりとその役割を果たしていかなければなりません。

そのためにも、昨年12月に施行された「第三次・担い手3法」、そのなかで求められている「労働者の処遇確保」「資材高騰に伴う労務費へのしわ寄せ防止」「働き方改革と生産性の向上」といった取り組みを、建設業界全体で更に進めていく必要があります。

日本電設工業協会としましては、引き続き発注者様に対し「4週8閉所の実現」「適正工期の順守」「仕様の早期決定」「対等な契約関係の構築」を強く申入れ、働き方改革の推進に努めて参ります。

これらの取り組みは、業界の魅力を高めるとともに、将来を担う若手入職者の増加や定着、ひいては業界全体の持続的成長につなげていく上でも、最も大切で必要なことであると言えます。

今後、本会としても、しっかりとこれらのことを推し進めていきたいと思っております。そしてまた同時に、会員企業の皆様におかれましても、引き続きの取り組みにご尽力いただきますようお願い申し上げます。

結びに、本日ご臨席の皆様にとりまして、本年が実り豊かで、充実した一年となりますよう、祈念申し上げます、新年のご挨拶とさせていただきます。



賀詞交歓会 会場全景

祝辞

国土交通省近畿地方整備局
頼本宮繕部長 様

(全文)



本日は、一般社団法人 日本電設工業協会関西支部さま、一般社団法人大阪電業協会さまのご主催により、「2026年 新春賀詞交歓会」がかくも盛大に開催されますこと、心よりお慶び申し上げます。

また、皆様方におかれましては、日頃より国土交通行政、官庁宮繕の事務・事業の推進に、格別のご理解とご協力をいただき、この場をお借りしまして厚く御礼申し上げます。

昨年は、万博で大いに盛り上がった1年だったかと思えます。今年は丙午（ひのえうま）の年ということで、飛躍の年だと言われております。私どもとしましては、万博のレガシーを、上手くこれからの施設整備に活かしていければと考えているところでございます。

さて、建築分野を取り巻く環境は、少子高齢化による担い手不足などの課題を抱えるなか、いわゆる「担い手3法」が改正され、昨年12月に改正建設業法及び入契法が全面

施行されました。これに伴い、適正な労務費の確保・行き渡りに向けて、宮繕工事においても、労務費の内訳の把握が可能となるよう、内訳書標準書式に労務費の記載を追加するとともに、「単位施工単価」の導入を開始したところです。

整備局としましては、現場の「働き方改革」や「生産性向上」において発注者としてできる取組みを一層進め、また、さまざまな発注者にも参考にして頂けるよう周知・普及に努めていきたいと考えております。

また、私どもを取り巻く建築分野、とりわけ建築設備の分野におきましては、一層の環境対策が求められているところです。2050年カーボンニュートラルの実現に向けて、政府の目標として、2030年までには新築建築物の平均で「ZEB Ready」相当になることを目指すとされており、現在、整備局においては、新築建築物について原則「ZEB Oriented」相当以上を目指して整備を進めています。また、今年度からは、新築の設計段階において、ライフサイクルカーボンの算定を先行的に試行することとしております。

これらの環境対策を含めた設備システムの実現には、様々な工夫や対応が求められます。これまで建築設備分野で先導的な役割を担い、各種ノウハウを培われてきた皆様方の技術力に大いに期待するとともに、その果たすべき役割はますます大きくなっていくものと考えております。引き続きのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

最後になりますが、貴協会並びに会員の皆様の益々のご発展とご健勝を心より祈念いたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。

祝辞

経済産業省 中部近畿産業保安監督部
近畿支部 苦瓜支部長 様

(全文)



本日はこのように盛大な賀詞交歓会にお招き頂き、誠に有り難うございます。心よりお祝い申し上げます。私からは、昨年の振り返りと新年の展望について、お話をさせていただきます。

昨年は、トランプ関税やお米等の物価高など厳しい話題が続きましたが、一方で関西では、大阪・関西万博の開催、阪神タイガースのリーグ優勝、関西の大学から2名のノーベル賞受賞など、明るい話題がありました。

そして今年は、冬季オリンピックやWBC、サッカー・ワールドカップ等のスポーツイベントが続き、日本選手の活躍に期待が高まります。こうした前向きな話題を力に、地域全体がさらに活気づくことを願っております。

他方、電気保安については、昨年の大阪・関西万博の開催にあたり、安全に開催できるか課題でしたが、多くの方々のご尽力により、無事に開催することが出来ました。この場を借りて深く感謝申し上げます。

また、産業保安全体については、昨年は、阪神・淡路大震災から30年の節目の年でした。あれから30年、関西では2018年に大阪北部地震や台風21号がありました。南海トラフ地震については、80年前の1946年の昭和南海地震以降発生しておりませんが、備えを怠らないことが重要です。

私ども経済産業省では、昨年3月に地震・津波への備えをテーマとした講演会を開催しました。国土交通省や兵庫県も、阪神・淡路大震災を振り返るシンポジウムを開催しました。昨年は、過去の教訓を改めて学び直す機会が多くありましたが、今年は、その教訓を実践に移す年にしなければなりません。

皆様におかれましても、いざという時に何をすべきか、準備やイメージをぜひご確認頂きたいと思えます。

私どもも、巨大災害への備えはもちろん、日常の事故防止についても、本日ここにお集まりの皆様とともに、死亡事故ゼロ・死亡事故撲滅を目指し、安全で安心な社会の実現に向けて、取り組んでまいります。

結びに、本年が皆様にとってより良い一年となりますこと、そして一般社団法人大阪電業協会のさらなるご発展と、ご出席の皆様のご健勝ご多幸を心より祈念致しまして、私の挨拶とさせていただきます。皆様本年もご安全に。

社業を通じて電設業界の発展に貢献



1月19日(月) 17時から、シェラトン都ホテル大阪(大阪市天王寺区)「明日香の間」において、永年勤続者表彰式が開催されました。今年度は47名が表彰を受けることになり、当日は協会役員が見守る中、受表彰者27名が出席されました。

表彰式は、総務委員会 藤井 勇人専門委員の司会により開会され、冒頭、上坂 隆勇会長から受表彰者に対して、永年の功労への感謝の言葉がありました。

続いて、司会者から表彰式出席者全員の紹介があり、受表彰者代表の三栄電気工業株式会社 笠田 健一さんに対して、上坂会長から表彰状と記念品が授与されました。

表彰式に出席された受表彰者の方は、引き続き開催された賀詞交歓会に出席され、お互いの喜びを分かち合い、更に社業貢献への決意を新たにされました。

本表彰は、長きにわたり社業に尽力され、業界の発展に大きく寄与された社員様の労苦に報い、モチベーションアップにつながるまたとない機会となろうかと思えます。

今後とも、表彰対象の方につきましては、漏れなく申請

■日時	2026年1月19日(月) 17:00~17:15
■場所	シェラトン都ホテル大阪 3階「明日香の間」
■受表彰者	19社 47名



上坂会長 謝辞

をお願いします。

(毎年9月初旬頃、メールマガジンによる申請案内を行っています。)

《表彰要件》

- 1 本会会員歴3年以上の企業の従業員のうち、表彰年度を含む直近3年(基準日は12月31日)の間に、勤続25年に達した方
- 2 本会会員企業の大阪府下事業所に、通算15年以上在籍している方
- 3 表彰年度の1月1日現在、本会会員企業の大阪府下事業所に在籍勤務予定の方
- 4 本会や他府県電業協会において、永年勤続表彰を受けていない方



代表受彰 三栄電気工業株式会社 笠田 健一さん

永年勤続者表彰 受彰者名簿(敬称略)

会社名(五十音順)	氏名		
アイ電気通信(株)	逢坂 洋平		
浅海電気(株)	竹島 志都	村井 周二	
伊藤電気(株)	角田 敬哉		
エクシオグループ(株)関西支店	西垣 知泰	小島 裕文	姫野 卓也
	小松 顕宏	小倉 正人	清水 健司
	坂本 修一		
(株)キンコー	新堂 和紀		
(株)きんでん	東野 幸史	尾子 知江	石原 知香
	西本 康男	一瀬 紀子	笹倉 健一
	岡村 竜也	東 大輝	畑中 智恵
	岡畑 恵子	松尾 恵治	
栗原工業(株)	黒田 嘉和	神下 紘一	
三栄電気工業(株)	笠田 健一		
三宝電機(株)	大倉 誠		
昭和電業(株)	栗山 輝久		
住友電設(株)	大槻 雅子	日岡 文男	吉光 英郎
	米田 明美	安部 功補	東山 祐貴
中央電設(株)	宅島 誠人	成田 博樹	
トーヨー電気工事(株)	乾 大介	岡崎 剛	
東光電気工事(株)関西支社	山本 薫子		
日本電設工業(株)大阪支店	福原 愛		
浜田電気工業(株)	棕橋 克宏	千代 貴夫	
(株)阪電工	山下 美紀	黒川 治昭	寺井 新一
藤井電気工事(株)	安部 誠		
八千代電設工業(株)	片岡 玲二		

祝

業界の模範となる施工者の功績を称えて

本会では、建設事業の第一線で業務に精励し、技術・技能の研鑽を重ねながら、他の模範となる施工者の顕彰に取り組んでいます。

この度、本会から大阪府へ推薦していた2名の方が、ともに大阪府知事表彰を受賞されました。

令和7年度「優秀建設施工者」大阪府知事表彰式典は、2月5日（木）、大阪府庁本館5階「正庁の間」において開催され、受賞者一人ひとりに大阪府 森岡副知事から表彰状が直接授与されました。

本年度は、熟練工部門18名、青年部門9名が表彰されています。



大阪府庁「正庁の間」

熟練工部門

建設現場業務の直接従事期間15年以上、かつ35歳以上

会社名 浜田電気工業株式会社

氏名 板谷 和也 さん

功績

長きにわたり電気設備工事に携わり、登録電気工事基幹技能者の認定を取得するなど、多くの資格を有し、安全最優先に高品質の施工実績があり、リーダー的存在として活躍している。
また、技術的指導役として、安全ミーティングを定期的に行い、若手技術者の安全教育や技術伝承に尽力している。



青年部門

建設現場業務の直接従事期間10年以上、かつ34歳以下

会社名 NDK西日本電設株式会社（日本電設工業株式会社 協力会社）

氏名 渡邊 諭 さん

功績

豊富な経験年数を活かして、他職の施工方法も考慮しながら、合理的に施工する技術・技能を有している。
また、職長会安全パトロールに積極的に参画し、これまで得た知識・知見を惜みなく伝授する等、若手社員に良い影響を与えている。



この度のご受賞、心からお祝い申し上げます。
日頃から積み重ねてこられたご努力に、深く敬意を表します。
電気設備業界の未来を担う存在として、今後ますますのご活躍を期待しております。



大阪・関西万博の“おもてなし”に貢献

2025年大阪・関西万博は「いのち輝く未来社会のデザイン」をテーマに、4月13日から10月13日までの184日間、大阪・夢洲を会場として開催されました。

158の国・地域および7つの国際機関が参加し、来場者数は2,902万人（関係者を除くと2,558万人）に達しました。

準備段階では、運営面や集客面などに関する懸念が多く取り沙汰されていましたが、開幕後は、壮大な大屋根リングや公式キャラクター「ミャクミャク」の人気なども相まって来場者が増加しました。

特に夏場以降は「行きたくても行けない」ほどの盛況となり、収益面や来場者満足度の観点からも、万博は成功裏に閉幕したと言えるでしょう。結果として、関西経済の活性化にも大きく寄与しました。

●万博TDMパートナーとしての取り組み

万博期間中の交通混雑を緩和するため「万博TDM (Transportation Demand Management) パートナー」制度が設けられました。TDMとは、鉄道や道路利用者が時差出勤や在宅勤務などを通じて交通需要の抑制・平準

化を図り、交通混雑の緩和を目指す取り組みです。閉幕時点での登録数は1,644件、3,684事業所にのぼりました。

万博TDMパートナーには、大阪府下に拠点を置く多くの企業・団体が参加し、交通円滑化に協力しました。大阪電業協会においても、3月初旬にパートナー登録を行い、会員企業向けメールマガジンを中心に、万博TDMパートナー事務局から発信される各種情報の周知に努めました。

●万博テストランへの参加と情報発信

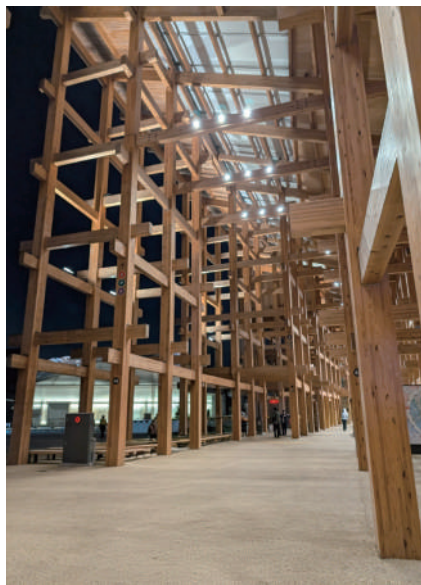
万博TDMパートナー登録のインセンティブのひとつとして、万博テストランへの招待があり、抽選の結果、4月6日11時入場のIDを5件取得しました。テストランは4月3日から6日まで実施され、最終日となる6日には約5万人が来場しました。

一方で、東ゲート周辺では最大で約1時間半の待ち時間が発生するなど、入場に時間を要する点が課題として浮き彫りとなりました。

本会では、テストランに参加した事務局員へのヒアリングを行い「帽子、日傘、サングラスは必須」といった来場時の注意点を整理し、Instagramを通じて情報発信を行いました。



万博TDMパートナー 登録証



テストラン当日

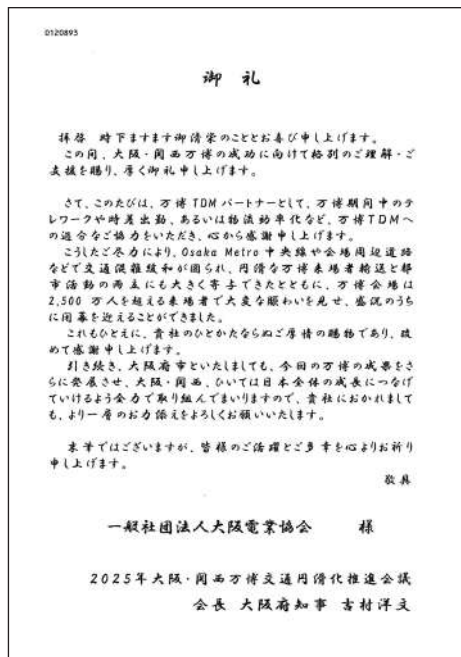


テストラン当日

●閉幕を迎えて

万博閉幕後には、2025年大阪・関西万博交通円滑化推進会議会長（吉村 洋文 大阪府知事）から、御礼状を頂戴しました。万博期間中の交通円滑化という“おもてなし”の一端を担えたことを、協会として大変うれしく感じております。

今後も本会は、関西のさらなる活性化に向け、微力ながら貢献してまいります。



万博TDMパートナー 大阪電業協会宛 御礼状

働き方改革推進の申入れ活動を展開

2025年12月、日本電設工業協会(以下、電設協)は、日本空調衛生工事業協会(以下、日空衛)と共同し、働き方改革を推進するための要請活動を実施しました。

【要請先】

- ・日本建設業連合会
- ・全国建設業協会

これを受け、電設協 関西支部は、日空衛 近畿支部とタッグを組み、以下のとおり、働き方改革を推進するための要請活動を実施しました。

申入れ時の説明資料

- ・働き方改革の推進等に関するお願い(両支部長名)
 1. 適正な工期の確保及び工程の遵守
 2. 長時間労働の是正
 3. 対等な契約関係の構築

4. 適切な労働環境の確保

- ・令和7年度「会員大会決議」(電設協)
- ・令和7年度「業界実践スローガン」(日空衛)
- ・2026年電設業界「働き方改革実現目標」(電設協 関西支部)

申入れ概要

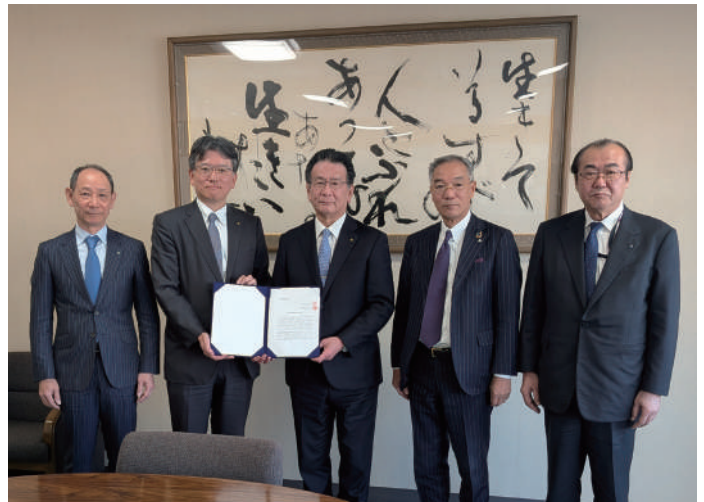
- ・工期終盤の繁忙期においては、前工程の遅れにより、通常期とは一変して稼働状況が逼迫しており、状況の改善に向けた取組みを強力にお願い
- ・建設技能労働者の処遇改善を図るためには、サプライチェーン全体における適切な価格転嫁の実現や、支払い条件の適正化が必要不可欠

大阪建設業協会への申入れ

日時 2026年2月4日(水) 10:30～11:00

場所 大阪建設会館5階 会議室
(大阪市中央区北浜東1-30)

出席者 (一社)大阪建設業協会
 銭高会長
 前田副会長
 寺田専務理事
 船本事務局長
 (一社)日本電設工業協会 関西支部
 上坂支部長
 横井副会長((一社)大阪電業協会)
 土井事務局長
 (一社)日本空調衛生工事業協会 近畿支部
 北村支部長
 林事務局長



(左から) 前田副会長、銭高会長、上坂支部長、北村支部長、横井副会長

日本建設業連合会 関西支部への申入れ

日時 2026年2月17日(火) 10:30～11:00

場所 KKRホテル大阪5階「橘」
(大阪市中央区馬場町2-24)

出席者 (一社)日本建設業連合会 関西支部
 山下支部長
 飯塚副支部長
 大西副支部長
 堀副支部長
 五十嵐副支部長
 銭高副支部長
 山田副支部長
 日野事務局長
 (一社)日本電設工業協会 関西支部
 上坂支部長
 谷副会長((一社)大阪電業協会)
 横井副会長((一社)大阪電業協会)
 土井事務局長

出席者 (一社)日本空調衛生工事業協会 近畿支部
(つづき)
 北村支部長
 林事務局長



(左から) 山下支部長、上坂支部長、北村支部長

受発注者が手を携え、働き方改革を推進

日本電設工業協会関西支部ならびに大阪電業協会では、毎年定期的に国土交通省近畿地方整備局宮繕部を始めとする公共工事発注機関との意見交換を開催しています。

意見交換では、日本電設工業協会の年度方針を踏まえ、電気設備業界が目指す方向性や取組みについて説明すると

ともに、各発注機関における働き方改革への取組みについて説明を受けています。

また、事前に会員企業から提起された直面する諸問題について意見交換を行い、発注者側のご理解を深めていただくとともに、諸施策への反映を依頼しています。

西日本高速道路株式会社との意見交換

■日時 11月10日(月) 14:00～15:55
 ■場所 ホテルエルセラーン大阪15階
 「スカイアトリウム」(大阪市北区堂島 1-5-25)
 ■出席者 西日本高速道路株式会社 (14名)
 技術本部 田中情報通信担当部長
 技術本部 施設部 松浦部長
 技術本部 施設部 施設技術課 井戸課長
 技術本部 施設部 施設技術課 藤井計画調整担当課長
 技術本部 施設部 施設技術課 枝廣課長代理
 技術本部 施設部 施設エリア課 下田課長
 技術本部 施設部 施設エリア課 久原課長代理
 保全サービス事業本部 保全サービス事業部 施設保全課 鮫島課長
 保全サービス事業本部 保全サービス事業部 施設保全課 伏原課長代理
 建設事業本部 建設事業部 施設建設課 山崎課長
 建設事業本部 建設事業部 施設建設課 田川課長代理
 関西支社 平川施設担当部長
 中国支社 保全サービス事業部 藤施設担当部長

■出席者 四国支社 保全サービス事業部 (つづき) 井上施設担当部長
 (一社)日本電設工業協会 (14名)
 関西支部 事務局長 土井 俊明
 (一社)大阪電業協会
 常任理事 佐藤 守良(経営委員長)
 理事 北詰 雅亮
 理事 小林 均
 専門委員 福田 広和
 専門委員 小寺 正教
 専門委員 奥村 孝
 事務局長 辰井 裕二
 事務局長代理 工藤 大五
 中国支部
 (一社)広島電業協会
 委員 松重 光昭
 四国支部 事務局長 大井 秀晃
 ㈱四電工 営業本部 営業部長 尾崎 和之
 九州支部 事務局長 藤井也寸志
 (一社)福岡電業協会
 事業部会長 福本 裕人
 ■テーマ 「働き方改革」「第三次・担い手3法」「資材価格の高騰、物価スライド制度」「入札・契約関連」「地域毎の近況」等に関する意見交換

大阪府都市整備部住宅建築局 公共建築室設備課との意見交換

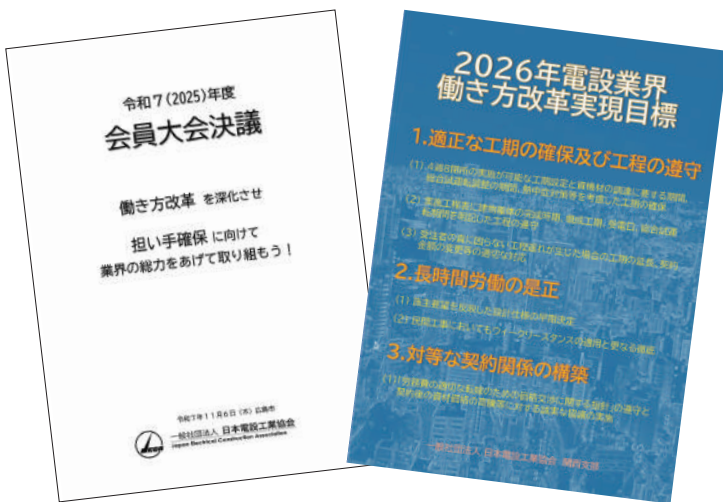
■日時 11月17日(月) 14:00～15:20
 ■場所 大阪電業協会 会議室
 (大阪市北区野崎町9-8 永楽ニッセイビル5F)
 ■出席者 大阪府都市整備部住宅建築局 公共建築室設備課(4名)
 設備課長 松尾 博司 様
 設備課 設備計画グループ 参事 今井 勲 様
 設備課 設備計画グループ 参事 井谷 始 様
 設備課 一般設備グループ 課長補佐 渡辺 実 様
 (一社)大阪電業協会 (14名)
 常任理事 佐藤 守良(経営委員長)
 理事 西尾 崇
 理事 小林 均
 専門委員 福田 広和
 専門委員 平田 勝久

■出席者 専門委員 廣畑 善光
 (つづき) 専門委員 渡部 憲一
 専門委員 小寺 正教
 専門委員 小松原一郎
 専門委員 今西 央
 専門委員 奥村 孝
 専門委員 濱田 優紀
 専務理事 土井 俊明
 事務局長代理 工藤 大五
 ■テーマ 「働き方改革」「第三次・担い手3法」「資材価格の高騰、物価スライド制度」「大阪府案件の発注状況」「設備課発注案件の応札状況」等に関する意見交換

国土交通省 近畿地方整備局営繕部との意見交換

- 日時 12月3日(水) 14:00 ~ 16:05
- 場所 マイドームおおさか8階 第6会議室
(大阪市中央区本町橋2-5)
- 出席者 近畿地方整備局(7名)
 - 営繕部長 頼本 欣昌 様
 - 営繕部 営繕品質管理官 佐藤 亘 様
 - // 設備技術対策官 那須 大輔 様
 - // 技術・評価課長 川勝 康弘 様
 - // 整備課長補佐 亀山 真吾 様
 - 京都営繕事務所長 西田 誠 様
 - 京都営繕事務所 保全指導・監督官室長 中西 乾太 様
- (一社)日本電設工業協会関西支部(16名)
 - (一社)大阪電業協会
 - 常任理事 佐藤 守良(経営委員長)
 - 理事 西尾 崇
 - 理事 北詰 雅亮
 - 専門委員 福田 広和
 - 専門委員 小寺 正教
 - 専門委員 奥村 孝
 - 専務理事 土井 俊明
 - 事務局長 辰井 裕二
 - 事務局長代理 工藤 大五

- 出席者 (一社)京都電業協会
 - 会長 進藤 久和
 - 理事 山本 直樹
- (一社)滋賀県電業協会
 - 会長 中嶋 良典
- (一社)奈良電業協会
 - 副会長 和田 修志
- (一社)兵庫県電業協会
 - 会長 小坂 哲二
 - 副会長 合田 吉伸
- (一社)和歌山電業協会
 - 会長 吉川 幸夫
- テーマ 「働き方改革」「第三次・担い手3法」「入札関連」「他発注機関への働きかけ」等に関する意見交換



【会員企業限定】公共工事発注機関 意見交換の詳細については、以下の手順でご確認ください。

1. 大阪電業協会ホームページから「**会員ログイン**」
2. サイト内検索窓に「**公共意見交換議事録**」と入力し**検索**



若手社員の価値観を理解する

9月26日（金）、大阪国際交流センターにおいて、2025年度会員企業社員向け研修を開催しました。

平日の多忙な時間にも関わらず、51社95名のご参加をいただきました。また、福祉活動の一環として続けております募金活動では、25,651円の真心を集めさせていただきました。

開催に先立ち、濱田部会長が開会挨拶を行い、来賓の経営委員会 佐藤委員長からご挨拶をいただきました。講師には、キャリアアップ・ラボ株式会社の井上 舞 様をお招きしました。

企業を取り巻く環境は急速に変化しており、世代を超えた人材が共に働く職場では、価値観の多様化が進み、特にSNS世代の登場によって従来の働き方やコミュニケーションのあり方が再定義されつつあります。

こうした背景を踏まえ、今年度の研修テーマは「個を活かすコミュニケーションの極意」～次世代を担う若手の価値観を知ろう～としました。

若手社員の価値観を理解することで、組織力を最大化するためのヒントを探る本研修が、企業の持続的成長に向けた新たな一歩となることを期待し、講演を行っていただきました。

参加者の理解が進むよう、質問をはさみながらお話しいただいたこともあり、大変有意義な時間となりました。また、研修会終了後のアンケートでも、前向きなご意見を多数いただきました。講師の井上様には、この場をお借りして心から御礼申し上げます。



濱田部会長 開会挨拶

- 日時 9月26日（金）14:30～17:00
- 場所 大阪国際交流センター 小ホール
（大阪市天王寺区）
- 参加者 51社 95名
- 講師 井上 舞 様（キャリアアップ・ラボ株式会社
チーフコーディネーター）
- テーマ 「個を活かすコミュニケーションの極意」
～次世代を担う若手の価値観を知ろう～



講師 井上 舞 様



研修会場全景

今回の参加者アンケートによる貴重なご意見を活かし、今後も皆様にとってより良い研修の機会を企画させていただこうと考えております。皆様のご参加、ご協力の程、よろしく申し上げます。（鎌田 記）

One for All, All for One

11月8日(土)、デイキャンプ活動を実施しました。青年部会の看板行事となっているこのボランティア活動は、31回目を迎えました。

今回は、泉州堺ブロックの学園10校76名の児童と21名の引率の先生方をお招きし、会員18社57名、運営委員27名を含め、総勢181名の参加となりました。

午前中は大阪府羽衣青少年センターでカレーライス作り、午後からは近隣の大阪府立臨海スポーツセンターでスポーツ大会を行いました。開会式では、来賓の経営委員会 西尾理事からご挨拶をいただきました。

午前中のカレーライス作りでは、各グループに分かれ、児童は会員の皆様に教わりながら調理をしていました。釜戸の火起こしに悪戦苦闘する児童や、薪をくべるのを工夫して効率よく火を起こす児童、また、人参を切ったり、カレーを焦がさないよう一生懸命鍋をかき混ぜる児童がいたり、普段体験できないことに取組む児童の目はキラキラと輝いていました。

会場全体に広がるカレーの良い匂いに食欲をそそられながらも、でき上がるのを楽しみに待ちました。そして、すべての班が時間どおりにカレーライス作りを終え、待ちに待った食事の時間になりました。



カレー作り



ドッチビー

《日 程》 11月8日(土)
《場 所》 大阪府羽衣青少年センター
大阪府立臨海スポーツセンター
《参加人数》 181名

やっとの思いで作ったカレーは格別のように、おかわりをする児童も多く見られ、少しも余すことなくすぐに完食となりました。

午後からは臨海スポーツセンターに移動し、スポーツ大会を行いました。今回は「ピン球リレー」「ドッチビー」「玉入れ」の3競技を行いました。

「ピン球リレー」では、スプーンやお玉にピン球を乗せながらコースを走り、タイムを競いました。ピン球を思うように運べないことに苦戦しながらも、チーム丸となって取組んでいました。

「ドッチビー」は、ボールの代わりにフリスビーを使って行うドッチボールです。最後までフィールドに残った人数を競います。投げて、避けて、キャッチしてと、みんな夢中になって取組んでいました。

どの競技でも全力で取組み、仲間を励まし応援する姿は、まさに「One for All, All for One」でした。

閉会式では、スポーツ大会の成績発表を行い、賞品・記念品をお渡ししました。発表のたびに歓声を上げて喜ぶ児童、悔しがる児童、拍手で称える児童と、最後まで大盛り上がるのうちに無事終了しました。

このボランティア活動は、子どもたちに野外活動の楽しさと、団体行動の楽しさ・大切さを感じてもらい、自主性・創造性・協調性を育むことを目的とするとともに、青年部会がこの活動を通じて社会に貢献することを目的として毎年開催しています。

最後になりましたが、ご協力をいただきました各学園の先生方、大阪府ならびに羽衣青少年センター・臨海スポーツセンター関係職員の皆様方、経営委員会ならびに会員の皆様方には厚く御礼申し上げます。(小山 記)



ピン球リレー

スポーツ大会



玉入れ

会員相互の交流と親睦を図る

10月25日(土)、しい茸ランドかさやにおいて、レクリエーション活動を実施しました。当日の天気予報は曇り時々雨でしたが何とか持ち堪え、会員・ご家族を合わせて91名のご参加をいただきました。

参加者を受け付けた後、開会式を行いました。濱田部長が開会挨拶を行い、来賓の経営委員会 北詰理事からご挨拶をいただきました。

その後、大野本運営委員から当日のスケジュールと注意事項を説明し、黒枝豆・しい茸の味覚狩りと縁日を楽しんでいただきました。縁日では、ポップコーンとスーパーボールすくいを用意したところ、子供たちはとても盛り上がっていました。



濱田部会長 挨拶



北詰理事 挨拶

《日 程》 10月25日(土)
 《場 所》 しい茸ランドかさや(兵庫県三田市)
 《参加人数》 26社 91名(うち子供26名)

昼食は、BBQハウスで黒毛和牛・若鶏セットを美味しくいただきました。また、子供・中高生・女性を対象とした景品を用意し、トランプを使用した抽選会を実施しました。皆さん、濱田部会長の引くトランプに大注目でした。

チャリティゲーム大会では、Nintendo Switch2をはじめとした豪華景品を入札方式で競り落としていただきました。多数の投票があり、開札の際は大いに盛り上がりしました。

最後は、藤田副部会長の挨拶をもって閉会としました。我々青年部運営委員としましては、多数の会員の家族サービスに一役買ったのではないかと喜んでおります。

今回のチャリティゲーム大会での募金(117,222円)につきましては、日本赤十字社の義援金ならびに大阪府下児童養護施設への寄付に充当させていただきます。会員皆様のご理解・ご協力に、深く感謝申し上げます。

今後も青年部会では、会員相互の交流と親睦を図るため、より多くの皆様に参加し楽しんでいただける企画を実施したいと考えています。

今後とも、レクリエーション活動を始め青年部会活動へのご参加を、運営委員一同、心よりお待ちしております。

(藤田 記)



黒枝豆狩り



しい茸狩り



BBQ



抽選会



スーパーボールすくい

退職防止あの手この手

中小部会では、参加企業の「若年退職者防止策」を水平展開する取組みを継続しており、2025年9月の会合では、マルヤ電気(株) 丸谷社長から、退職防止取組み事例の報告がありました。

その内容は、本会全ての中小会員企業様に参考にしていただけるものと考え、同社取組みの一端をご紹介します。



マルヤ電気株式会社
丸谷社長

マルヤ電気(株) 丸谷社長コメント

2020年以降、新入社員の入社が継続しており、社員構成が大きく変わりつつあります。

数年前、人間関係のトラブルによる退職者が発生したこともあり、特に、社員間のコミュニケーションを向

上させる対策に注力してきました。

特段目立ったことはしていないと自覚していますが、当社の取組みが少しでも中小会員企業様のヒントになりましたら幸いです。

マルヤ電気(株)の退職防止策(抜粋)

1 コミュニケーションに関する対策

● **日常的な声掛け**

社長もしくは専務が、出勤・退勤時に社員一人ひとりに声掛け(直行直帰は原則不可)

● **新入社員教育の充実**

ベテラン電工職社員による入社後6カ月間のOJT教育を実施

● **電工教室の開催**



主に、4~6月の現場閑散期に、社内で先輩電工職社員による技能伝承教育を実施

● **Teams導入による連絡の効率化**

2020年から導入したTeamsが定着し、現場での相談・共有円滑化に貢献

● **定期的な社内食事会の開催**

- ・若手社員の親睦会
- ・勤続年数節目の特別会食



2 勤務に関する対策

● **年間カレンダーの作成**

毎年4月、年間休日記載された会社カレンダーを全社員に配付(2025年度年間休日 125日)

● **新入社員への勤務配慮**

入社後6カ月間、時間外労働・休日出勤は原則なし

● **休日出勤の公平な割当**

現場手配担当者の調整により、休日出勤の片寄りを極力排除

● **勤怠管理システムの導入**

2024年4月から、勤怠管理システム(King of Time)を導入(スマホによる出退勤打刻、振休・有休申請)



3 その他

● **健康経営への取組み**

社員の声を反映したスマホアプリによる健康管理への取組み

「健康経営優良法人2025(中小規模法人部門)」に認定



労働災害発生直後の実践を学ぶ

中小部会では、10月20日(月)に第6回「労働災害等リスク発生時の対応」研修を2部構成で開催しました。講師は、前回に引き続き土井専務理事が担当されました。

オリエンテーションとして、司会の廣田運営委員から受講時の注意事項等が伝えられ、主催者を代表して橋本部会長が開会挨拶を行い、研修が始まりました。

今回使用する改訂版「リスク発生時の対応教本」は、労働災害発生直後の初動対応から、関係機関への報告、遺族・行政への対応、再発防止までを体系的にまとめた実践マニュアルであり、現場責任者から経営層まで、全ての関係者が共有すべき内容となっています。



橋本部会長
開会挨拶

- 日時 10月20日(月) 13:30~16:30
- 場所 大阪電業協会 会議室
- テーマ 「労働災害等リスク発生時の対応」
~あなたの現場で業務上災害が起きたら、
あなたはどのように対処しますか~
- 講師 (一社)大阪電業協会 専務理事 土井 俊明
- 受講者 35名 (中小会員企業代表者、現場代理人、総務担当者等)

◆ 被災者家族・社内連携のあり方

被災者家族が搬送先に到着する前後の対応や、説明時の留意点についても学びました。

「推測を交えず、調査中であることを正確に伝える」「家族の心情に寄り添い、宿泊や食事などの支援を行う」など、誠意ある行動が求められることを改めて確認しました。

また、現場・総務・経営層それぞれの役割分担を明確にし、社内での情報伝達体制を事前に整備しておくことの重要性が強調されました。

◆ 再発防止と安全文化の定着へ

研修終盤では、災害原因の究明と再発防止策の策定について説明がありました。

「原因分析」「是正措置」「恒久対策」の3段階を整理し、社内マニュアルの改訂や安全教育への反映など、継続的な改善を図ることが求められました。

参加者からは「災害がないことを願うが、いざというときの対応方法が曖昧だったので詳しく勉強できてよかった」「社内で情報を共有したい・他の社員にも次回参加させたい」といった意見も出され、現場で即応できる体制づくりへの意識が高まる有意義な研修となりました。

日頃から社内の安全体制を見直し、いかなる状況でも落ち着いて対応できるよう、今後も定期的な研修を継続してまいります。(坂本(雅) 記)

◆ 初動対応の重要性を再確認

第1部では、実際に発生した「高圧受電設備での感電死亡事故」を事例に、第2部では「交通信号機取付作業中の交通死亡災害」を事例に、災害発生直後の現場対応手順を学びました。

被災者の救出・応急手当・救急車の要請など、人命救助を最優先に行動することが強調されました。救急車を呼ぶ際の要点や、現場保存の方法、第1報の伝達手順など、混乱の中でも迅速かつ正確に判断すべき項目を具体的に確認しました。

◆ 関係機関への報告と現場対応

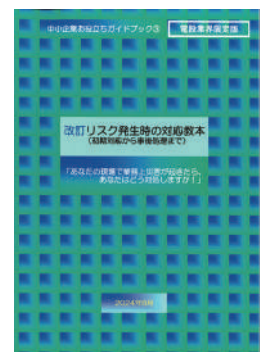
次に、労働基準監督署・警察への報告や、調査対応の流れについて説明がありました。



講師 土井専務理事

監督署からの書類提出要請や「是正勧告書」「指導票」への対応、また虚偽報告や遅延提出が「労災隠し」とみなされるリスクについても注意喚起がなされました。

講師からは「誠実で迅速な対応が、結果的に企業の信頼を守る」との言葉があり、参加者一同、改めて基本の大切さを実感しました。



2名の方に受講の感想をお聞きしました

※年齢、
勤続年数は
受講当時

旭電設株式会社 吉岡 勇一郎さん (34歳)

《勤続年数》9年6カ月 《職種》技術職 《現在の主な仕事》現場管理

★「労働災害等リスク発生時の対応」
研修を受講して★

本研修では、重篤災害発生時の初動対応をフロー等で基礎から説明していただき、非常にわかりやすく勉強になりました。

建設業に携わっていると、労災という言葉は常に身近に感じていましたが、特に重篤災害が起きてしまった場合の対応といった点については考えるのを避けていた面もあり、リスクに対し向き合えていなかったと反省しています。

今回の講習で、

- *各種チェックシートを作成し、災害発生時に備えておく
- *災害の状況に限らず、被災者側ご家族の気持ちを一番大事にして対応する

*災害発生時に労働基準監督署などへの対応の仕方等、非常に大切な部分を教えていただきました。

発生後数日間での対応・不休災害や労災保険知識といった点について講話いただきました、講師の先生には大変感謝しております。貴重な研修を企画いただき、ありがとうございました。

★今後の抱負★

今回の研修は、労災発生時のリスクについて深く考える機会となりました。有事の際は、落ち着いて正しい対応ができる体制を整えていきたいと思えます。

重篤災害を発生させないため、現場での危険な行動に対し注意し合える雰囲気作りや、各種安全対策の徹底等、建設業に従事する一員として取り組んでいきたいと思えます。



阪神ユニテック株式会社 内海 和彦さん (46歳)

《勤続年数》15年2カ月 《職種》技術職 《現在の主な仕事》現場管理・新人教育

★「労働災害等リスク発生時の対応」
研修を受講して★

本研修前は「労働災害」という言葉と、発生した際にかかる4つの責任「刑事責任」「民事責任」「行政責任」「社会的責任」があるというぐらいの知識しかありませんでした。

研修は、それぞれの責任について詳しく事後対応の内容が網羅されており、災害時の対応フローチャートやチェックリスト・ポイント説明も分かりやすかったと思います。

今回の研修で、如何に初動対応を素早くできるかが重要で、事後対応はひとりではなく、それぞれの立場の方々が素早く対応しなければならない事が分かりました。

講習中は、自分ならこの時どう行動するか、事例の様な場合であれば自分の立場で初動はどうするか等を考えながら受講しました。

災害を起こさない事が重要ですが、他人事ではなく当事者のように考え、本研修が定期的開催されるのであれば、管理者・現場責任者が情報認識の希薄をなくすために参加すべき内容だと思いました。

★今後の抱負★

今回の研修知識を使わないに越したことはありませんが、知識があるとないとでは、対応力の差は大きく異なると思います。

情報共有は必要不可欠であり、情報の刷新を定期的に行い、管理者と現場責任者が有事に迅速な対応ができる体制を整えていきたいと思えます。

自分の立場でできる事は少ないかもしれませんが、自身が積極的に労働災害後の対応に関わることが如何に重要であるかを発信できるように、日々精進したいと思えます。



中小部会では、今後も本研修を継続開催しますので、中小会員企業の皆さままで未受講の方につきましては、是非受講してみてください。

(中小部会独自の安全教育小委員会一同)

特集

「省エネ・省施工」の課題に挑戦!

第53回 電気工事士技能競技大会

一般社団法人 大阪電業協会



入賞者集合写真

最優秀賞

三栄電気工業株式会社
小野 恒太さん

三栄電気工業株式会社
小野浦 飛優さん

浅海電気株式会社
南郷 巧実さん

10月16日(木)、マイドームおおさか2階B・C・Dホールにおいて、第53回電気工事士技能競技大会を開催しました。一般の部26名(20社)、高校生の部16名(8校)の選手が出場しました。

当日は、経済産業省 中部近畿産業保安監督部 近畿支部様、大阪府様、大阪市様をはじめ、関係諸機関・諸団体から来賓のご臨席をいただき、審査委員ならびに大会役員列席のもと、9時に森運営委員長が開会宣言を行い、開幕しました。

開会式では、上坂会長の挨拶に続き、来賓代表の経済産業省 中部近畿産業保安監督部 苦瓜近畿支部長からご祝辞を頂戴した後、玉尾選手(株式会社ミライト・ワン)による選手宣誓が行われました。

続いて、遠藤審査副委員長から競技説明が行われました。今大会は「住宅玄関の省エネ・省施工」をイメージした競技課題とし、金属管とPF管を使った露出配管を多く取り入れ、配管の山越えを組み入れました。

回路番号①は、3路スイッチによるレセプタクル(昼光色)の点滅及び100Vコンセント回路としました。

回路番号②は、熱線センサ付自動スイッチ(設定は、動作保持時間10秒、明るさセンサ切、検知エリア制限力バーを最も狭くする)と操作ユニットによりローゼット(電球色)の点滅を行う回路としました。

回路番号③は、EV・PHEV充電用15・20A兼用接地屋外200Vコンセント回路としました。

予定より5分繰り上げ、9時25分から3時間の競技を開始し、競技が終了した作品から順次審査を行いました。一般の部では、誤接続による失格者が1名いましたが、省施工という課題のため制限時間の超過もなく、平均的に早く終了しました。

高校生の部は、1つのボードに2人作業で競技を行います。猛暑の中、夏休みから役割分担を決め、先生と話し合いながら練習を積み重ね、大会に臨みました。各校とも、練習の成果を遺憾なく発揮し、概ね時間内に完成させていました。

誤接続が判明した高校には悔しい結果となりましたが、大会出場がきっかけとなり「安全に正確かつ素早く作業をする」ことの大切さに気付いてもらえればと思います。

また、競技場内に JECA FAIR 2025 製品コンクール入賞製品他の展示コーナーを併設し、競技参加者をはじめ、会場に来られた方々に見学していただきました。

一般財団法人関西電気保安協会様には「感電体感コーナー」を設置していただきました。

16時から、桐谷審査副委員長による審査結果発表、



苦瓜近畿支部長 祝辞



中地審査委員長 講評

中地審査委員長による大会講評があり、その後、大阪府知事賞、大阪市長賞、大阪電業協会会長賞をはじめ、各賞の表彰が行われました。最後に、森運営委員長が閉会を宣言し、大会は盛況裡に終了しました。

(一社)大阪電業協会 上坂会長挨拶

第53回電気工事士技能競技大会の開催に当たり、ご挨拶を申し上げます。

本日は、業務ご多忙のところ、ご来賓として経済産業省 中部・近畿産業保安監督部 近畿支部 苦瓜支部長様をはじめ、多くの皆さまにご臨席を賜っております。誠にありがとうございます。

さて、私たちを取り巻く環境は、企業の旺盛な設備投資を受け、ビルや工場をはじめ、データセンターや再生可能エネルギー、蓄電池、省エネ関連など、需要は堅調に推移しております。

インフラを支え、電力安定供給の一翼を担う私たち電設業界としましては、これら多くの需要、社会からの期待にしっかりお応えしていくとともに、安全で高品質の電気設備を構築し、公共の安全を確保するという観点からも、その役割を果たしていかなければなりません。

本大会は、大阪電業協会の事業目的でもあります「電気工事に関する技術・技能の向上及び能率の増進に寄与する」活動の一環として、電気工事士の技術・技能の向上を図ることを目的としており、こうした取り組みを通じて、将来を担う人財の育成、ひいては業界の魅力創出に繋げていきたいと考えています。

選手の皆さんには、日頃培われた技量、練習の成果を如何なく発揮して、悔いの残らないよう、怪我のないよう、全力で臨んで頂きたいと思っております。

早朝から終日にわたりご対応いただきました審査委員の皆さま、課題作成にご尽力をいただきました関西電力送配電株式会社の皆さまには、誌面をお借りしまして深く御礼申し上げます。
(矢野 記)



上坂会長 開会挨拶

また、本大会は、高校生の部を設け、大阪府下の電気科の高校生の皆さんにも出場頂いております。本会 技術・技能委員会のメンバーや技術者の指導を受けながら、本日のために競技課題に取り組んで頂きました。ご支援頂きました先生方にも、

改めて感謝を申し上げたいと思います。

本日は、一般の部では20社から26名、高校生の部では8校から16名の方々に出場して頂いております。選手の皆さんには、この貴重な機会を得た「ものづくりの楽しさ」を体感していただき、今後活かして頂ければ幸いです。

最後になりましたが、大阪府様、大阪市様、関西電力送配電様には、準備段階からのご協力に加え、本日も審査をご担当頂き誠にありがとうございます。改めて御礼を申し上げます。

また、技術・技能委員会の皆さんには、大会開催にあたり、1年以上も前から綿密に準備して頂き、大変ありがとうございました。

そして何よりも、選手の皆さんの今までの努力を称え、本日のご健闘を祈念し、第53回電気工事士技能競技大会開催に当たってのご挨拶とさせていただきます。



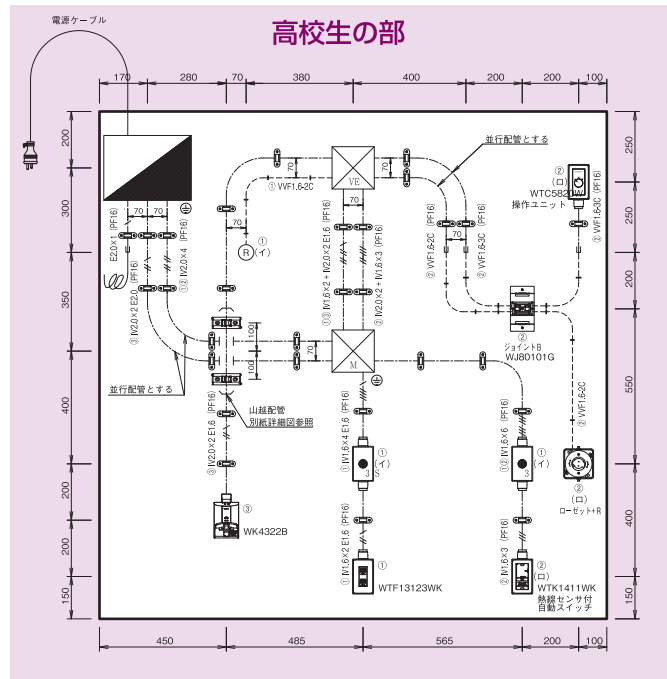
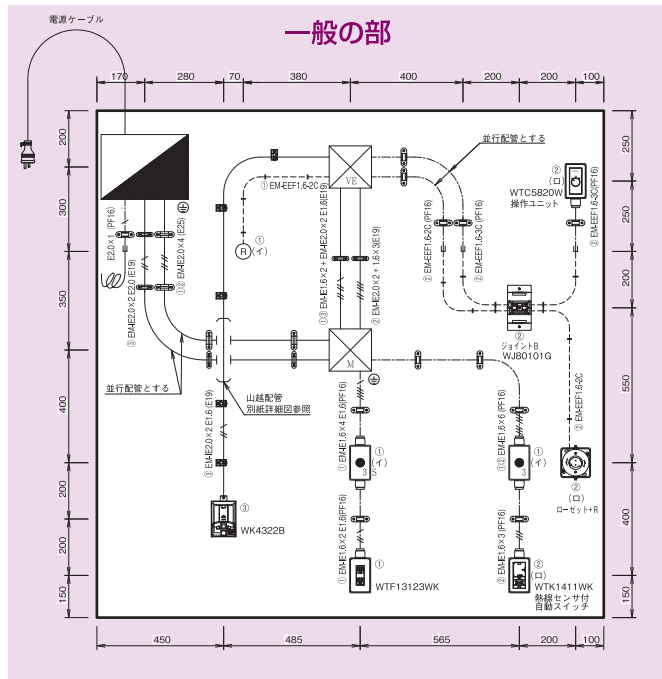
選手宣誓をする玉尾選手



製品展示コーナー



第53回 電気工事士技能競技大会 課題施工図



表彰選手名簿(一般)

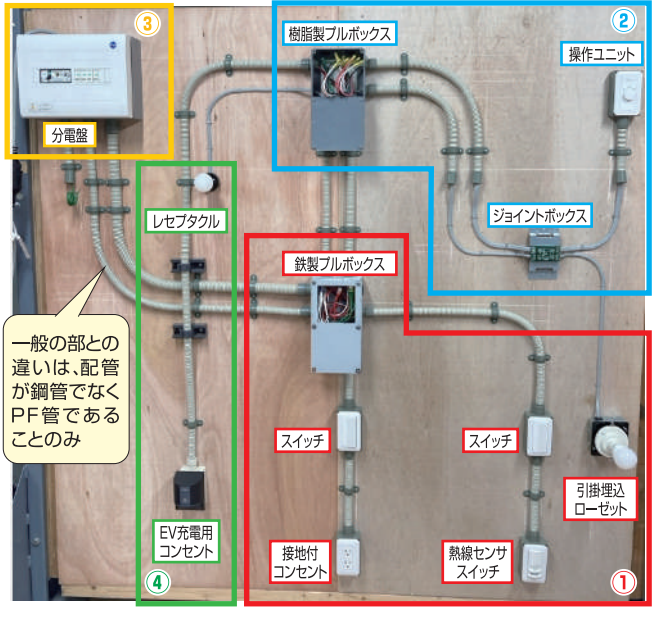
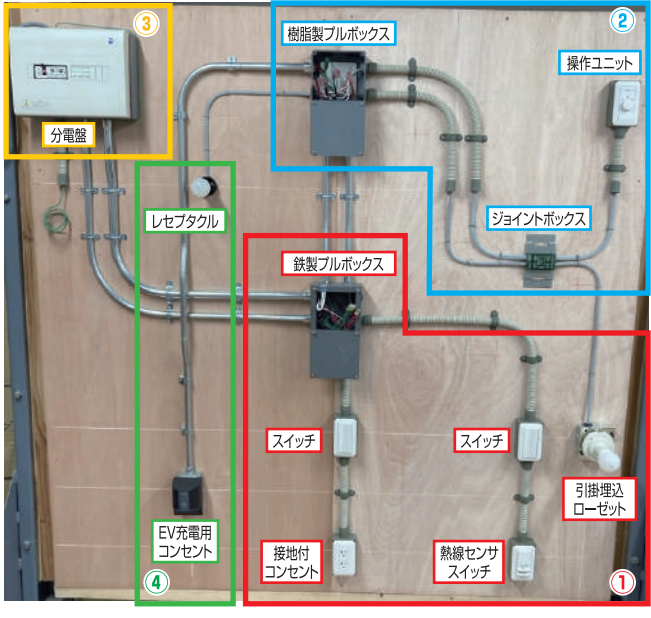
表彰種別	表彰者	ポードNo.	選手名	会社名/所属会社名
最優秀賞	大阪府知事賞	19	おのうら 小野浦 飛 優	三栄電気工業(株)
	大阪市長賞	24	なんごう 南郷 たくみ 巧美	浅海電気(株)
	(一社)大阪電業協会 会長賞	2	おの 小野 恒 太	三栄電気工業(株)
優秀賞	(一社)日本電設工業協会 関西支部長賞	3	さかもと 坂本 なお尚 や哉	エクシオグループ(株)関西支店
	大阪府電気工事工業組合 理事長賞	9	ふなばね 船橋 とちひろ 大	住友電設(株)
優良賞	(一社)大阪電業協会 会長賞	17	やまもと 山本 まさ誠 や也	トヨ一電気工事(株)
		21	よし吉 吉もと な直 き樹	栗原工業(株)
技能賞	(一社)大阪電業協会 会長賞	8	まつもと 松元 かい海 と音	浅海電気(株)
		10	おんざき 尾崎 しん慎 こ吾	(株)関電工関西支店

表彰選手名簿(高校生)

表彰種別	表彰者	ポードNo.	選手名	学校名
優秀賞	(一社)日本電設工業協会 関西支部長賞	B	いなば 稲本 とし 醒 なき 風	大阪府立泉尾工業高等学校
優良賞	(一財)関西電気保安協会 理事長賞	E	うし 牛丸 まる ちひろ 広 だ 汰	大阪府立堺工科高等学校
技能賞	(一社)大阪電業協会 会長賞	F	やま 山口 なか 樹 み 実	大阪府立今宮工科高等学校
努力賞	(一社)大阪電業協会 会長賞	H	おお ぼやし 林 たく 斗	大阪府立生野工業高等学校
		C	か 加藤 祥 悟 と 斗	大阪府立淀川工科高等学校
		A	と 問屋 颯 すけ 佑	大阪府立都島工業高等学校 定時制の課程
		D	なか 橋口 悠 生 と	大阪府立西野田工科高等学校
		G	なが なが 龍 京 太 と 夢	大阪府立藤井寺工科高等学校

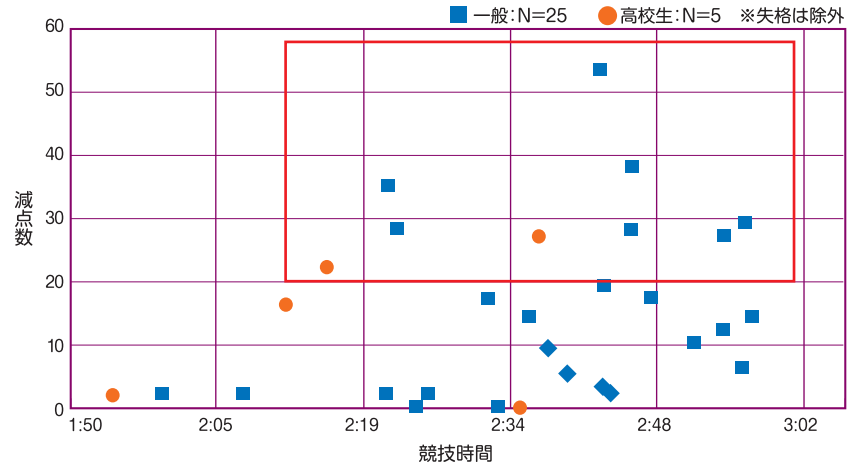
No.	項目 (一般の部)
①	鉄製プルボックス、熱線センサ、スイッチ×2、コンセント、ローゼット
②	樹脂製プルボックス、ジョイントボックス、操作ユニット
③	分電盤
④	レセプタクル、EV充電用コンセント

No.	項目 (高校生の部)
①	鉄製プルボックス、熱線センサ、スイッチ×2、コンセント、ローゼット
②	樹脂製プルボックス、ジョイントボックス、操作ユニット
③	分電盤
④	レセプタクル、EV充電用コンセント



競技時間別 減点数、減点数別割合

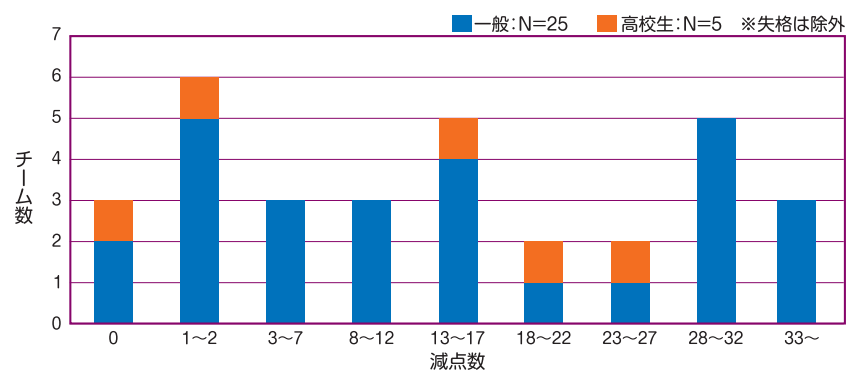
競技時間別 減点数



- 想定競技時間は3時間であるが、競技終了の時間差が大きい結果となっている。また、昨年と比較すると減点数20点以上が5件→9件と増加している。※左表赤枠内
- 昨年度と課題が違うため、一概に比較できないものの、第52回大会よりも競技終了時間は速くなっている。

	競技時間	平均	最速	最長
第53回大会	一般	2:38	2:00	2:58
	高校生	2:28	1:55	3:00
第52回大会	一般	2:47	2:15	3:00
	高校生	2:35	2:28	2:49
第51回大会	一般	2:40	2:09	2:59
	高校生	2:48	2:25	3:30
第50回大会	一般	2:30	2:13	2:59
	高校生	2:44	1:58	2:50

減点数別割合

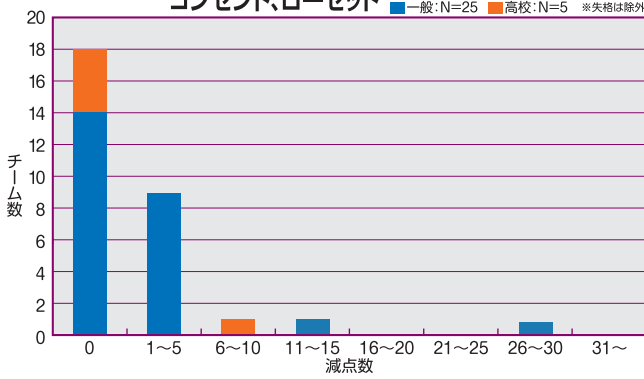


- 減点数は平均値、中央値ともに、第52回大会よりも増加しているものの、過去の平均値に比べると低くなっており、施工品質は向上している。※下表参照

	一般		高校生	
	平均値	中央値	平均値	中央値
第53回大会	15.0	12.0	13.4	16.0
第52回大会	9.0	5.0	11.8	9.0
第51回大会	17.9	11.0	45.8	15.5
第50回大会	37.0	14.0	45.9	20.0
過去平均	21.3		34.5	

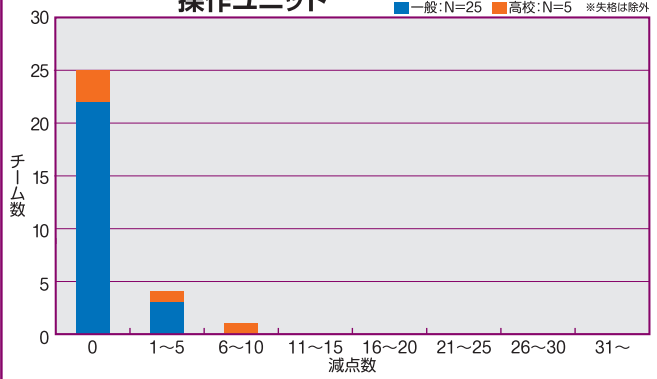
審査項目別 主な減点項目

「審査No.1」鉄製プルボックス、熱線センサ、スイッチ×2、コンセント、ローゼット



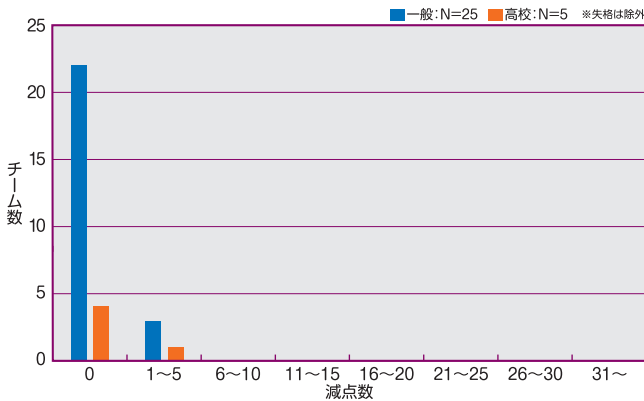
- 主な減点項目
- プルBOX: 絶縁ブッシング取り付け不良 (一般: 4チーム)
 - 差込コネクタの差し込み不足 (一般: 2チーム)
 - 熱線センサ: 芯線露出 (一般: 3チーム)
 - ローゼット: 芯線露出 (一般: 2チーム)

「審査No.2」樹脂製プルボックス、ジョイントボックス、操作ユニット



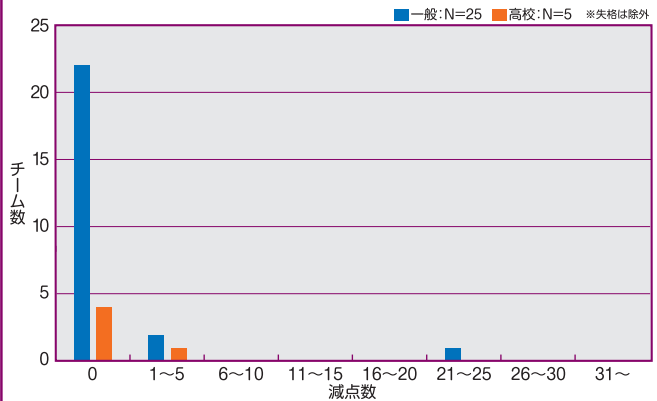
- 主な減点項目
- プルBOX: 金属管接地無し (一般: 2チーム)
 - 絶縁キャップ挿入不足 (高校生: 1チーム)

「審査No.3」分電盤



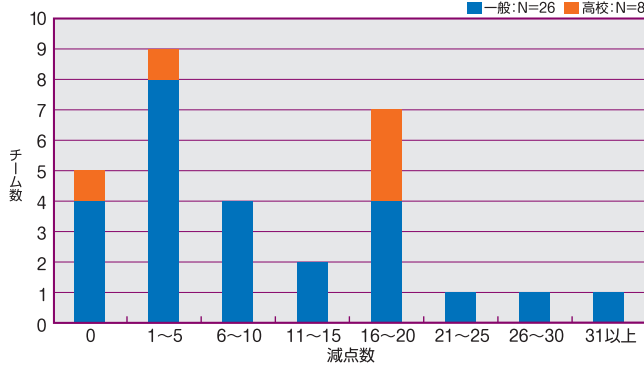
- 主な減点項目
- アースターミナル: 芯線露出 (一般: 2チーム)
 - 主幹ブレーカ: 芯線露出【絶縁キャップなし】 (高校生: 1チーム)

「審査No.4」レセプタクル、EV充電用コンセント



- 主な減点項目
- EV充電用コンセント: 芯線露出 (一般・高校生: 3チーム)
 - レセプタクル: 極性誤り (一般: 1チーム)

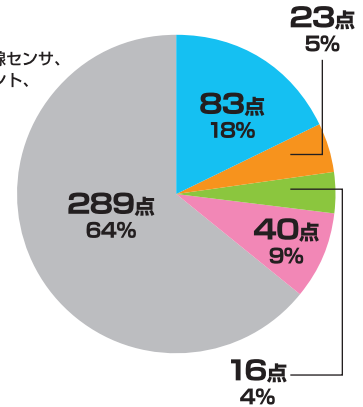
補助審査



- 主な減点項目
- 競技時間超過 (高校生: 1チーム)
 - 材料減点 (一般: 1チーム、高校生: 1チーム)
 - ボード減点: G・Q・K減点 (一般: 6チーム、高校生: 6チーム)
 - 検尺判定減点 (高校生: 1チーム)
 - 外観判定減点 (一般: 20チーム、高校生: 3チーム)

項目別減点数

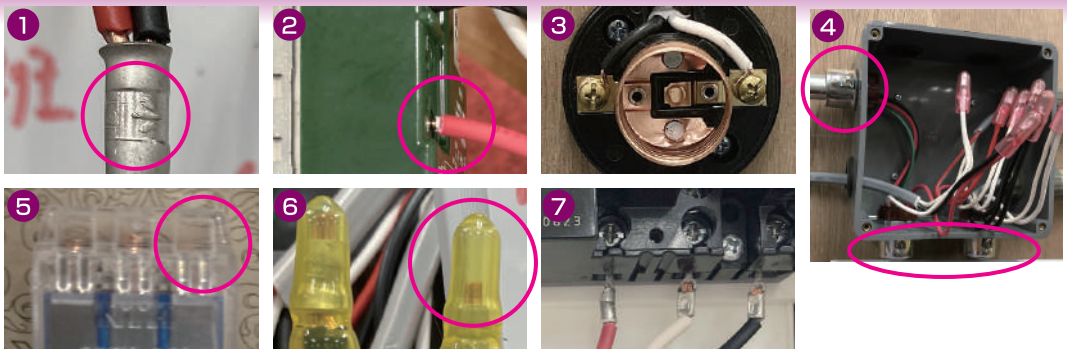
- 審査No.1 鉄製プルボックス、熱線センサ、スイッチ×2、コンセント、ローゼット
- 審査No.2 樹脂製プルボックス、ジョイントボックス、操作ユニット
- 審査No.3 分電盤
- 審査No.4 レセプタクル、EV充電用コンセント
- 補助審査項目



- 減点割合の大きい項目
- No. 1 (18%)
 - 補助審査項目 (64%)

不具合箇所写真

- ① 圧着マーク適用誤り
- ② 芯線露出
- ③ 極性誤り
- ④ 接地なし
- ⑤ コネクタ挿入不足
- ⑥ 絶縁キャップ挿入不足
- ⑦ 充電部露出 (絶縁キャップなし)



人材育成や体系的な教育への熱意を感じとる見学

2025年度会員企業見学会として、11月7日（金）に、日新電機株式会社の日新アカデミー研修センターならびに本社工場を訪問しました。

研修施設では、受変電実習室で各種遮断機の入り切りを体験し、遮断器実習室では各メーカー・年代の実機を見学しました。最新設備が揃ったGIS実習室やトランス・コンデンサ実習室では、実際の現場作業を模したトレーニングが可能で、オイル交換や点検の設備も整っています。

中庭から明るい日差しが差し込む快適な建物で、人材育成や体系的な教育への熱意が随所に感じられ、私自身大変好印象でした。

研修施設の安全教育も先進的で、短絡した実機サンプル展示やVR（仮想現実）による災害疑似体験、不安定な梯子や階段を用いた体感型の訓練など、従来の座学だけではない実践的な教育が紹介されていました。

また、電気以外にも水処理実験室やPCS（パワーコンディショナシステム）実験室、さらに施工者向けの研修スペースもあり、分野を問わず安全品質面の向上に力を入れている点が印象的でした。

特に、自社製電力機器のガス絶縁開閉装置（GIS）が、コンパクトかつ省スペースに設置されていたことが目を引きました。限られた敷地を有効に活用する工夫に、同社の設計力・技術力を実感しました。

開催日：11月7日（金）

見学先：日新電機株式会社 日新アカデミー研修センター・本社工場（京都市）

参加者：33名

本社工場では、コンデンサの製造工程を見学し、アルミとフィルムの巻き取りや実物に触れる貴重な体験ができました。クリーンルームでの高品質な製造管理や、OF式（オイル充填）コンデンサの国内初製品化を実現した技術開発力には深い敬意を表します。

変圧器工場や配電盤工場も見学し、整理整頓が行き届いた清潔な現場管理、女性スタッフも積極的に活躍する姿から、ダイバーシティ推進や安全・品質意識の高さも印象に残りました。

今回の見学会を通じ、日新電機株式会社が高度な技術力・品質管理・人材・安全教育を総合的に推進し、業界を牽引する企業であることを改めて認識しました。見学を受け入れてくださった関係者の皆様に、心より感謝申し上げます。（井手 記）



GIS実習室



受変電実習室



トランス・コンデンサ実習室



遮断器実習室



会員企業見学会参加者集合写真

技能労働者の目標像としての活躍を期待！

日本電設工業協会主催 2025年度登録電気工事基幹技能者認定講習

日本電設工業協会では、2008（平成20）年4月から、建設業法施行規則第18条の3の6の規定に基づき「登録電気工事基幹技能者」の認定評価を行うための講習を開催しています。同会では「電気工事業」と「電気通信工事業」の2業種を取り扱っています。

なお、同会では、建設マスター（優秀施工者 国土交通大臣顕彰）および建設ジュニアマスター（青年優秀施工者 不動産・建設経済局長顕彰）の推薦条件として、登録電気工事基幹技能者の認定資格を取得していることを規定しています。

- 日 時 10月25日（土）～26日（日）
9：30～17：00
- 場 所 エル・おおさか 南ホール
- 主催者 日本電設工業協会 関西支部
- 受講者 75名+終了試験1名
- 合格者 76名（合格率100%）

1 「登録電気工事基幹技能者」に求められる役割

以下の役割発揮により、生産性が高く、安全で品質に優れた電気設備工事施工の実現を図ること

- (1) 現場の状況に応じた施工方法等の提案・調整
- (2) リーダーシップの発揮による、現場施工の円滑化および施工品質向上の実現
- (3) 現場代理人（現場管理技術者）や職長（技能者の指揮・監督者）に対する連絡・調整・提案

2 「登録電気工事基幹技能者」認定講習の概要

- (1) 認定講習（2日間・11時間）
- (2) 学科試験（1時間、合格：60点／100点満点）
 - ・選択問題 14問（配点70点）
 - ・記述式 1問（配点30点）
 ※受講者が電気工事現場において、職長の立場で特に留意した事項と、その処置または対策等を問う

3 「登録電気工事基幹技能者」認定講習の受講条件

- (1) 第一種電気工事士免状を取得していること
- (2) 電気工事若しくは電気通信工事の直接施工業務に従事し、10年以上の実務経験があること
- (3) 労働安全衛生法第60条による職長教育を修了し、受講申込日までに3年以上の職長経験を有している者

認定講習の内容

	科 目	時 間	講 師（敬称略）
1 日 目	電気工事における新材料・新工法、法改正等OJT教育	2時間	浅海電気(株) 大鹿 徳夫
	施工・原価・事務管理、関連法規	2.5時間	(株)クリハラント 前田 勇
	工程・資材管理	2時間	住友電設(株) 居安 正智
2 日 目	登録電気工事基幹技能者の概要	1時間	中央電設(株) 小西 修一
	安全・労務管理	2時間	(株)きんでん 岡田 靖彦
	品質・環境管理	1.5時間	栗原工業(株) 中村 寛



講習終了後、引き続き行われた学科試験には76名が挑戦され、見事全員合格されました。6名の講師の皆さまには、誌面をお借りしまして、心から御礼申し上げます。

なお、本講習は、2026年度から、WEB講習（eラーニング受講）ならびにCBT試験が導入されることになりました。詳細は、日本電設工業協会ホームページ「お知らせ」をご確認ください。（事務局 記）



真剣に耳を傾ける受講者の皆さん

技能労働者ステップアップの登竜門

大阪電業協会主催 2025年度 職長教育

「労働安全衛生法第60条」では、新たに職長（作業中の労働者を直接指導または監督する者）になった第一線の現場監督者に対して、事業者が、作業手順の定め方、指導および教育の方法、設備の保守管理の方法等の教育を行うことを義務付けています。

一方「労働安全衛生法第16条」では、建設業における通常50人以上の混在作業現場において、関係請負人側が選任する職として安全衛生責任者（元請や他職種との連絡・調整を行い、労働災害防止に当たる者）を規定しています。

大阪電業協会では、法令に定められた「職長・安全衛生責任者教育」を1975（昭和50）年から毎年実施しており、現在まで延べ3,290名の会員企業社員が受講されました。

職長教育修了後、3年以上の職長経験を有している方は、登録電気工事基幹技能者認定講習の受講資格のひとつを満たすこととなります。

1日目の林講師は、社内外での豊富な講師経験を活かし、自前の資料を取り混ぜながら、語り掛けるような口調でお話されていました。

2日目の中村講師は、グループワークに主体を置き、時折実現場での事例を交えながら、熱のこもった講義を展開されていました。

両講師とも、合間には自己の経験談等も取り入れるなど、進行にメリハリをつけ「飽きさせず、疲れさせない」2日間の講習となりました。

受講者の皆さま、今回学んだ事を現場で生かしていただき、安全作業の継続をお願いします。

また、講師を務めていただきましたおふたりにつきましては、誌面をお借りして心から御礼申し上げます。

（事務局 記）

- 日 時 11月19日（水）～20日（木） 9:00～17:00
- 場 所 大阪電業協会 会議室
- 講 師 1日目：林 達也 氏（住友電設㈱）
2日目：中村 寛 氏（栗原工業㈱）
- 受講者 11社 23名

【内容】学科・演習（14時間）

- ①職長、安全衛生責任者の役割 (2時間)
- ②異常時、災害発生時における措置 (1.5時間)
- ③現場監督者として行うべき労働災害防止活動 (2時間)
- ④作業手順の定め方、労働者の適正な配置 (2時間)
- ⑤労働者に対する指導・監督の方法 (2.5時間)
- ⑥危険性・有害性等の調査、調査結果に基づき講ずる措置 (4時間)

【1日目講習】林講師



【2日目講習】中村講師



年度2回目の開催にチャレンジ!



就活セミナー会場全景

多くの会員企業から「電気系学生と出会える機会を増やしてほしい」との要望をいただき、8月29日(金)に続いて年度2回目となる就活応援イベントを開催しました。

■ 日 時	12月13日(土) 12:45~17:00
■ 場 所	大阪産業創造館 (大阪府中央区本町)
■ 参加者	40名

4Fイベントホール

就活セミナー
(12:45~14:00)

- 「就活スタート! ぶっちゃけトーク」
大阪労働協会 道廣 茂樹 様
- 「電気設備業界の概要と将来性」
大阪電業協会 人材部会長 岩本 浩一
- 「出展企業27社による1分PR」

3Fマーケットプラザ

企業ブース交流
(20分×6回)
(14:15~17:00)

- 1~2回目 「新たな発見の2社」
(大阪電業協会が訪問企業を指定)
- 3~6回目 「自由選択タイム」
(学生が訪問企業を選択)

就活セミナー

● 「就活スタート! ぶっちゃけトーク」

12時45分からの道廣講師のセミナーでスタートしました。就活の不安を解消できる唯一の近道は「自分で経験すること」であり、企業や自分を確かめるためには「リアルの場が必要」とのお話がありました。そして「本日のイベントを時間いっぱい活用することが、皆さんの変化のきっかけになり、就活時のガクチカにも繋がる」と伝えていただきました。



道廣講師

● 「電気設備工事業界の概要と将来性」

続いて、岩本人材部会長から、施工管理職の現場での立ち位置や仕事内容について、実例を交えながら分かりやすく説明しました。「私たちが構築する電気設備は社会を支える重要なインフラであり、将来にわたってなくなることがない」と強く伝えました。



岩本講師

● 「出展企業27社による1分PR」

その後、出展企業27社が持ち時間1分で、企業理念や独自の強みをアピールしました。「短時間で自社の魅力をいかに伝えるか」各社とも工夫を凝らした内容であり、多くの学生が熱心にメモをとっていました。





「独自の強みや働きやすい環境を分かりやすくアピール」



企業ブース交流

来場学生を3階に誘導し、14時15分から企業ブース交流(全6回)が始まりました。学生には、受付で「新たな発見の2社」シートを渡しており、1~2回目は本会が指定する企業を訪問していただきました。(3~6回目は、学生が訪問する企業を選択)

前回(8月29日)よりも参加者が減ったことは残念でしたが、多くの学生がイベント終了まで残ってくれたことは、主催者として大変意義深く感じています。

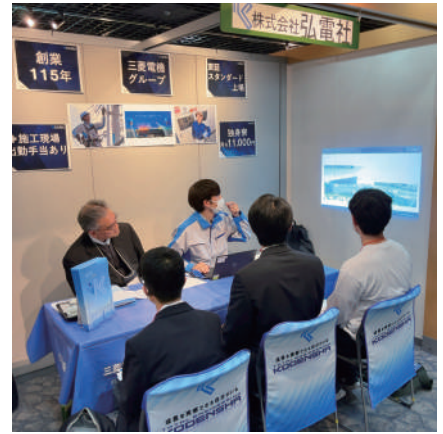


企業ブース交流全景

出展企業一覧

(五十音順)

アイ電気通信(株)	(株)きんでん	昭和電業(株)	野里電気工業(株)
浅海電気(株)	栗原工業(株)	住友電設(株)	浜田電気工業(株)
エクシオグループ(株)	(株)クリハラント	中央電設(株)	(株)阪急阪神電気システム
(株)川瀬電気工業所	(株)弘電社	(株)中電工	(株)HEXEL Works
旭日電気工業(株)	三栄電気工業(株)	(株)トーエネック	八千代電設工業(株)
近畿設備(株)	(株)サンテック	南海電設(株)	(株)雄電社
(株)キンコー	三和電気土木工事(株)	日本ファシリオ(株)	



来場学生アンケート回答から

- AIに取って替わられない職種であることや、安定して働けそうだということが分かり、参加できてよかった。
- 1分という短い時間でアピールする特徴や方法に、様々な違いがあって面白かった。
- (8月29日に続いて2回目の参加) 的を絞って企業を探ることができてよかった。
- 電気設備業界について学べて、とてもよい体験になった。また機会があれば参加したい!

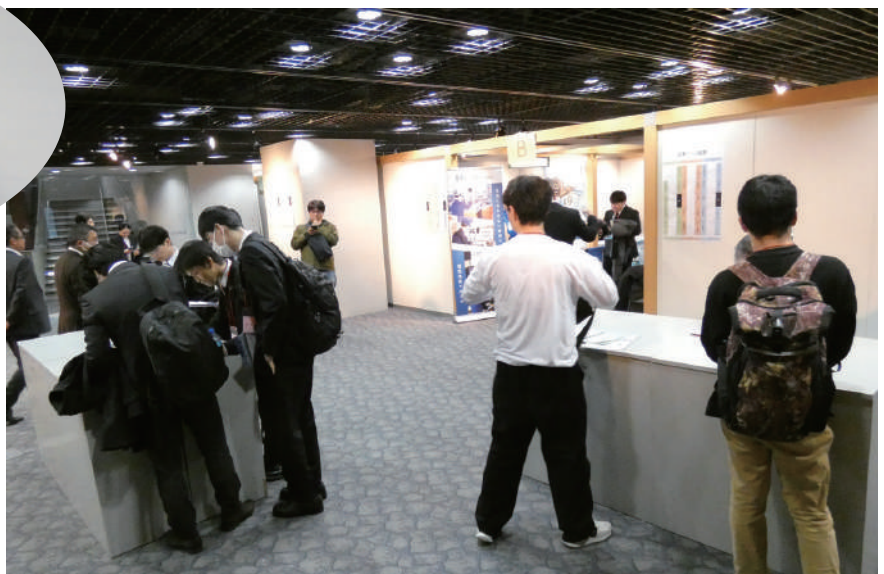


参加記念品をお渡し



ドリンクコーナー

大阪電業協会そして
会員企業各社は、
電気設備業界に
興味・関心を持つ皆さんを
全力で応援します。



学生に選ばれる魅力ある業界づくりを推進

大学電気系学科教員・キャリアセンターとの意見交換

- 日 時 11月21日(金) 15:00 ~ 17:10
- 場 所 中央電気倶楽部 5階 513号室 (大阪市北区)
- 参加者 大学 8校 10名(敬称略)
 - 電気系学科教員 (7校 8名)
 - 大阪産業大学 教授 草場 光博
 - 関西大学 准教授 米津 大吾(WEB)
 - 大和大学 教授 渡部 憲一
 - 立命館大学 教授 久保 幸弘
 - 産業技術短期大学 講師 小川 英典
 - 広島工業大学 教授 江田 英雄
 - 広島工業大学 教授 墨田 浩志(WEB)
 - 神戸市立工業高等専門学校 教授 小矢 美晴

- 参加者 ● キャリアセンター (2校 2名)
 - (つづき) 大阪電気通信大学 キャリアセンター 参事 多田見 寧子
 - 産業技術短期大学 学生・進路支援課 主任 藤里 慎弥
- 大阪電業協会 10名
- 人材部会 (7名)
 - 部会長 岩本 浩一
 - 副部会長 乾 克彦、由井 秀洋
 - 部員 花市 竜章、高松 光示、原 宗一郎、辰巳 哲也
- 事務局 (3名)
 - 専務理事 土井 俊明
 - 事務局長 辰井 裕二
 - 事務局長代理 工藤 大五

- 次 第
 1. 開会挨拶：岩本部会長
 2. 双方からの質問を題材とした意見交換
 3. 閉会挨拶：乾副部会長



岩本人材部会長 開会挨拶



辰巳部員 司会進行

意見交換(抜粋)

(1) 就活イベント(対面、27社出展)の開催時期(大学生の参加減少が顕著)

「3年生6月(夏季インターンシップ前)・10月(後期授業開始後)」や「2年生後半～3年生初期」を意識した開催が有効

(2) 現場(施設)見学(平日 午後開催)の開催時期

平日午後開催では授業・実習と重なり、参加が難しいとの意見が多数。
開催時期・曜日の見直しが課題



(3) 就活動向・大学側の課題認識

夏季インターンシップから早期選考へ直結する流れが一般化し、学業への影響を懸念。
大学と企業が、両輪で学生育成を行う必要性を共有

(4) インターンシップ・学生支援の実態

多くの大学で3年生の7～9割が夏季インターンシップに参加(複数社経験が一般的)。
学生支援は個別相談中心。キャリアセンター主導、教員による全学生面談など、大学ごとに特色あり

(5) SNS活用と情報発信

学内の就活情報発信は、LINE・Instagram中心、YouTubeや口コミサイトの影響も大。
今後、業界団体や企業SNSを活用した情報発信が不可欠

(6) ミスマッチ防止

ミスマッチ防止策として、選考過程でのインターンシップ組込み、現場体験、実情を含めた率直な情報開示、複数回の対話機会が有効との事例を紹介

学生目線に立ったイベント企画を通じて大学との連携を強化し、学生に選ばれる魅力ある業界づくりを進めていきます。

府内工業系高校教員との意見交換

■日時 12月10日(水) 15:00～17:00
 ■場所 大阪電業協会 会議室
 (大阪市北区野崎町9-8 永楽ニッセイビル5階)

■参加者 府立工業系高校 10校 12名(敬称略)

生野工業高等学校	電気科長	市村 昌和
泉尾工業高等学校	電気科長	林 克佳
東淀工業高等学校	電気工学科長	岩本 浩志
都島工業高等学校	電気電子工学科長	磯村 和也
	機械電気科長	前川 雄貴
	電気系列(定時制)	坂本 高英
今宮工科高等学校	進路指導部長	岡野 浩
西野田工科高等学校	電気系長	高地 正訓
堺工科高等学校	進路指導部長	桂 拓也
城東工科高等学校	進路指導部	田辺 仁史
淀川工科高等学校	進路指導部	中尾 諒
成城高等学校	電気情報系列長	河合 克樹

大阪電業協会 14名

- 人材部会 (9名)
- 部長 岩本 浩一
- 副部長 乾 克彦、由井 秀洋
- 部員 花市 竜章、高松 光示、仙崎 哲也、原 宗一郎、中尾 剛、辰巳 哲也

■参加者 ●中小部会 (2名)
 (つづき) 副部会長 原 智哉、渡部 憲一
 ●事務局 (2名)
 専務理事 土井 俊明
 事務局長 辰井 裕二
 事務局長代理 工藤 大五

■次第 1. 開会挨拶：岩本部会長 (人材部会)
 2. 意見交換
 3. 電気設備工事業界 入職促進事業
 4. 閉会挨拶：原副部会長 (中小部会)



岩本人材部会長
開会挨拶



原中小部会副部会長
閉会挨拶

意見交換(抜粋)

(1) 就職状況、高校側の課題認識

- 就職率は概ね高水準で推移。電設業界への就職は一定数あるが主流ではない
- Handy (求人票管理システム) の情報 (特に給料) が、進路選択に大きく影響
- 生徒が電設業界に向いているかどうかの判断が難しい
 ⇒ 事前の職場見学等、体験機会の充実を希望

(2) 企業側の回答・取組み

- ①高卒新入社員定着への取組み
 - 離職は入社2～3年目に集中、研修や配属調整で定着支援
 - 同期研修、心理把握ツール等による定着支援
- ②高校側への期待事項
 - 勤怠、期限遵守など基本的な生活習慣の指導継続
 - 初任給だけでなく、キャリア全体を見た進路指導
- ③ミスマッチ防止策(職場理解の深化)
 - 動画活用や若手社員との本音交流によるリアルな職場紹介
 - 応募前職場見学者への丁寧な対応

(3) 電気設備業界 入職促進事業

①出前授業(実績)

都島工業(機械電気科3年生、定時制電気系)、淀川工科(電気系3年生)、成城(電気情報系列2年生)

②企業等連携による実践的技能力育成事業(実績)

東淀工業(電気工学科1年生、2年生)
 (株)キンコー、三栄電気工業(株)講師による電気工事実習

③大阪市立中学校等への出前授業

大阪市総合教育センターが推進するOEN (Osaka city Education Network) の紹介



会員企業
限定

大学・高校 意見交換の詳細については、以下の手順でご確認ください。

1. 大阪電業協会ホームページから「会員ログイン」
2. サイト内検索窓に「実施記録」と入力し検索

報告

行政と連携して、業界の魅力を発信

大阪府では「特に人材確保を必要とする業界」のひとつとして建設業を位置づけ、業界団体と連携したさまざまな取組みが進められています。

取組みの中心となるのが、大阪府が運営する「企業と人が出会う場所」をコンセプトにした総合就業支援拠点「OSAKAしごとフィールド」です。

2025年度は、その中でも大阪電業協会が関わる機会が一段と増え、OSAKAしごとフィールドと連携しながら、業界の魅力発信や人材確保に取り組んだ一年となりました。

1 大阪府キャリアカウンセラー向け業界理解研修

日時 10月20日(月) 13:30～14:30

場所 エル・おおさか本館11階 セミナールーム

参加者 キャリアカウンセラー 15名

大阪府職員 7名

講師 マルヤ電気(株) 代表取締役 丸谷 良美
 宏電工テック(株) 代表取締役 堀田 吉範
 (株)昭光電業社 代表取締役 原 智哉
 (一社)大阪電業協会 事務局長 辰井 裕二

本研修は、就職活動に関する相談支援を行うキャリアカウンセラーの方々に、電気設備業界への理解を深めていただき、求職者支援に活かしていただくことを目的に、2024年に引き続き2025年も実施されました。

当日は、会員企業3社から、業務内容や業界未経験からの転職入社事例について紹介した後、活発な質疑応答が行われました。

後日実施したアンケートでは「採用の実情や仕事の適性について詳しく知ることができた」「女性が活躍し、

ニーズの高い業界であることが印象に残った」「手に職や技術を身につけたい方に勤めたい」といった声が寄せられ、本研修が就労支援に有益であったとの評価をいただきました。



マルヤ電気(株) 丸谷社長



(株)昭光電業社 原社長



宏電工テック(株) 堀田社長

2 採用につなげるSNS企業アカウント運用勉強会

日時 11月12日(水) 14:00～15:30

場所 大阪電業協会 会議室

参加者 人材部会参加企業 7社 18名

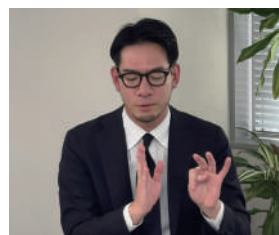
講師 (株)グレイジュ 代表取締役 山田 翔次様
 執行役員 新木 大智様

本勉強会は、OSAKAしごとフィールドご担当者からの提案を受け、人材部会参加企業を対象として試行的に開催しました。

当日は、企業SNS運用支援の実績を持つ(株)グレイジュの山田様・新木様を講師に迎え「自社の魅力整理」「参加企業2社のInstagramアカウントへのフィードバック」「ショート動画の撮影体験」という流れで進行了しました。

特にInstagramのアルゴリズムの仕組みや、写真・動画の効果的な活用方法、生成AIの活用について分かりやすく解説いただき、参加者満足度の高い勉強会となりました。

なお、撮影したショート動画は、大阪電業協会Instagramで公開中です(12月24日投稿)。



(株)グレイジュ 山田様



(株)グレイジュ 新木様



会場全景



ショート動画撮影

3 特別公開！ 関空の灯りを守る電気工事士の仕事現場を見学しよう！

日 時 11月17日(月) 13:00～15:00
 場 所 関西国際空港メンテナンスセンター他
 参加者 求職者 6名
 案 内 近畿設備(株) 専務取締役 仙崎 哲也
 技術部係長 小島 良介
 営業部 藤林 佳悟
 取 材 GATEN職 ガテ美ちゃん(株アール・エム)

本見学会は、OSAKAしごとフィールドが11月に実施した「建設業のおしごとツアー」の一環として開催されました。

当日は関西空港駅で参加者と合流し、バスで移動しながら空港のバックヤードを見学しました。移動中や見学先では、近畿設備(株)社員から分かりやすい説明があり、見学終了前には参加者から多くの質問

が寄せられました。

また、建設業の魅力発信で高い認知度を誇る「GATEN職 ガテ美ちゃん」も同行し、見学を取材されました。

見学の様子を収めた動画は、YouTube「GATEN職 ちゃんねるッ」で公開中です。

【お仕事体験】

ガテ美が関西空港でまさかのお仕事!?
 空港で働く電気工事のプロのお話を聞いたら本気度が凄かったです...



【電気工事の現場】

まさに命！関西空港の安全はこの仕事
 が守っているんです！



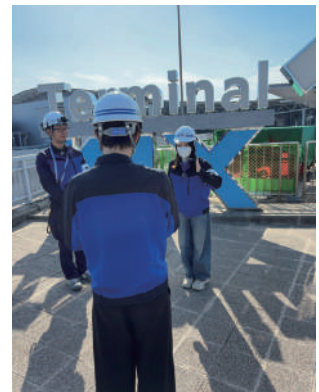
道路管理所電気室見学



第2道路電気所見学



近畿設備(株)の紹介



動画オープニング

4 企業×求職者 ホンネで聞けるしごと交流会(建設業編)

日 時 11月25日(火) 10:00～12:00
 場 所 エル・おおさか本館11階 セミナールーム
 参加者 求職者 5名
 出展者 (株)キンコー、近畿設備(株) (全5社のうち、会員企業2社)
 立 会 GATEN職 ガテ美ちゃん(株アール・エム)

本交流会も「建設業のおしごとツアー」の一環として実施されました。

参加者全員が車座になって自己紹介を行うところから始まり、終始アットホームな雰囲気の中で進行しました。

企業ブースでは、求職者と企業が1対1で向き合い、笑顔や笑い声も交えながら、仕事内容や働き方についてフランクな交流が行われました。

また、GATEN職 ガテ美ちゃんが同席する場面もあり、求職者にとって心強いサポートとなったようです。



(株)キンコーブース



近畿設備(株)ブース



GATEN職 ガテ美ちゃん

本会では、今後も行政や関係機関と連携しながら、電気設備業界の魅力を分かりやすく発信し、人材確保につながる取組みを継続してまいります。

ゼロカーボンベースボールパークで施設見学を開催 ～技術者たちの知恵と努力の結晶を体感～

11月11日（火）、中央電設株式会社が電気設備工事を施工した施設において、これからのキャリアを考える学生を対象とした施設見学を開催しました。

今回は、4校から11名に参加いただき、施設全体の概要や電気設備に関する説明、球場見学、施設関係者との質疑応答の場を設けました。

参加者は、今春開業したばかりの阪神タイガースファーム本拠地を見学できる貴重な機会と捉え、真剣なまなざしで参加していました。



オリエンテーション会場

建物概要

工事件名 日鉄鋼板SGLスタジアム尼崎
(ゼロカーボンベースボールパーク)
住 所 兵庫県尼崎市杭瀬南新町3丁目
規 模 地上3階建 建築面積7,120㎡ 延床面積10,918㎡ 両翼95m 中堅118m
設計監理 株式会社久米設計
建築会社 株式会社熊谷組
電気設備施工 中央電設株式会社



宇都宮様



佐伯様

参加者

参加者 11名
参加校 4校(大阪工業大学・大阪公立大学・摂南大学・東大阪高等職業技術専門学校)



屋外電気置場見学

見学会

13時50分から、阪神電気鉄道様ならびに中央電設様のご協力のもと、施設見学を開始しました。見学に先立ち、球場内の多目的室でオリエンテーションが行われ、本会広報委員会の早坂 稔委員長が開会のあいさつを行いました。

早坂委員長は、開催にご尽力いただいた両社への感謝を述べたうえで、参加者に向けて「施工企業はいずれもライフラインを支え、人々の暮らしに安全と安心を提供する使命を担っている。この機会を大切に、自分なりに何かを見つけてほしい」と呼びかけました。

さらに「本日の施設見学は多くの関係者の厚意で実現した貴重な機会。ぜひ多くの学びを持ち帰ってほしい」と結びました。

続いて、施設関係者として阪神電気鉄道株式会社 スポーツ・エンタテインメント統括部の佐伯 和哉課長補佐、中央電設株式会社の宇都宮 正仁課長が紹介され、佐伯課長補佐から施設全体、宇都宮課長から電気設備についての概要説明がありました。

司会による注意事項の案内をもってオリエンテーションは終了し、参加者は球場へ移動しました。

球場では、佐伯課長補佐・宇都宮課長の先導で最新鋭の施設・設備を間近に見学しました。参加者は熱心に説明に耳を傾け、技術者たちの知恵と努力の結晶を肌で感じる貴重な時間となりました。



スタジアム全景

見学後は多目的室に戻り、本会広報委員会の山中 幸一理事による「電気設備業界の魅力と将来性」と題した講義と質疑応答が行われました。

質疑では、電気設備に関する質問のみならず、施工管理職や新入社員教育など幅広いテーマで活発な意見交換が展開されました。参加者からの多様な質問に対し、丁寧かつ真摯に回答していただき、予定時間が瞬く間に過ぎるほど盛況のうちに終了しました。

開催後のアンケートでは「地上高40mのナイター照明(LED)と、それを支える柱に圧倒された」「3Kのイメージが強かったが、業界全体で働き方が改善され、働きやすい環境になっていると感じた」など、前向きな声が多数寄せられました。

本会では、現場(施設)見学が重要な学びの場であることを再認識し、今後も充実した内容で継続してまいります。最後に、今回の施設見学にご理解とご協力をいただいた

た阪神電気鉄道株式会社様、中央電設株式会社様の関係者に対して、誌面をお借りして心から御礼申し上げます。

(永守 記)

これは、いいね!・・・「自慢大賞」発表



22名の方から25作品の投稿がありました。お気に入りのワンショットをご提供いただき、ありがとうございました。広報委員会メンバーによる審査結果を発表します。

大屋根リングに繋がるエスカレーター

三栄電気工業(株) 野中 汐音さん



自慢者

閉園時間が迫る中、ライトアップと人の少なさで思わず撮影。空に繋がってるようにも思えて不思議な感じ。この風景がもう見れないと思うと淋しいものが・・・。

コメント

次回応募締切
7月31日

詳しくは、表紙裏面に掲載しています。たくさんの投稿をお待ちしています！

2位

改札レーンと放射状に広がる照明ライン

住友電設(株) 岩本 弘行さん

万博開催中の夢洲駅、朝の改札口です。照明のラインが放射状に広がるデザインが広がっていました。次に賑わうのはIRオープンの時でしょうか？



3位

宙に浮く道路照明

マルヤ電気(株) 松井 広和さん

チューリッヒの道路照明です。支柱の強度計算は不要です。



その他に投稿いただいた写真をおひとりにつき1点ご紹介します。

玄武洞 (高知県)

住友電設(株)
立野 聡さん

鍾乳洞の奥までこの灯りを灯す為の背景を電気工事に携わる者として思い浮かべ、感謝しながら写真を撮りました。



北海道札幌 ひとり旅

近畿設備(株)
船江 瞳さん

大好きな引退競走馬に会いに北海道に行きました。前日が雨だったので、空気が綺麗でとても素敵な写真が撮れました。



もはやアート2026

マルヤ電気(株) 西村 里美さん

大大阪時代の名建築「船場ビルディング」廊下の配管です。職人魂炸裂!



今日も一日ありがとう

マルヤ電気(株) 中野 勝之さん

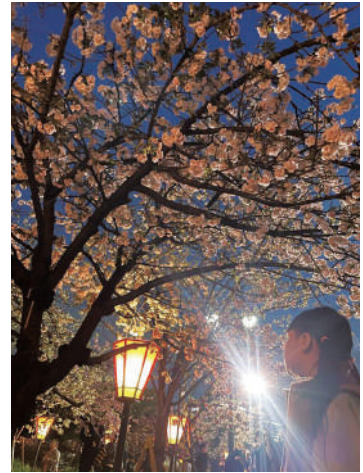
真夏の夕暮れ、大阪市内の関電柱さま、感謝です!



夜桜と娘

マルヤ電気(株) 幸山 裕一さん

毎年恒例の造幣局桜の通り抜け、夜桜のライトアップに娘の成長、感動!



2025クリスマスツリー

(一社)大阪電業協会 事務局
芝 貴美恵さん

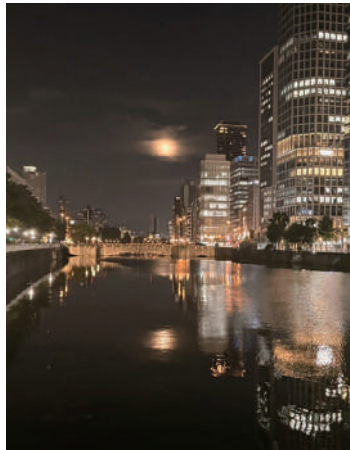
東京ディズニーシーの巨大クリスマスツリー。15mもあり迫力満点の輝き! 素敵な時間でした。



中秋の名月と淀屋橋

(株)関電工 関西支店 田崎 浩太郎さん

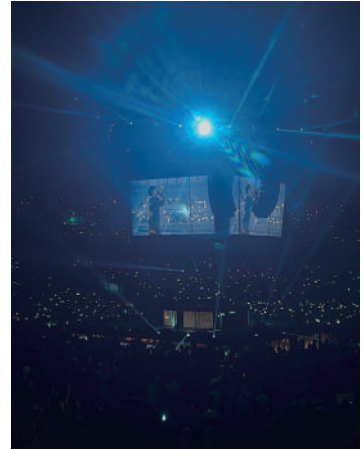
水面に映る中秋の名月とビルの灯り。遠く離れていても同じものが観れるので、誰かに連絡したくなりました。



歌と光の二重奏

(株)関電工 関西支店 蓮中 瑛介さん

ここはライブ会場。全員が光を照らし、照らされ、歌と光で会場全体に一体感を感じました。



中之島フェスティバルタワーの光

(株)関電工 関西支店 阿倉 瞳さん

この景色を見て綺麗と思ったのと同時に、この光の数だけみんな働いてるんだ、と思いました。



夜空を見上げて(神戸メリケンパーク)

(株)関電工 関西支店 坪内 杏奈さん

星空に目を向けるだけでなく、ドローンショーという革新的な演出を通じて、夜に広がる美の多様性を再発見しました。



大好きな街「大阪」

(株)関電工 関西支店 嶋村 憲二さん

何気ない日常、暮らしを守る電気。年末の街の様子を見て、2025年を振り返りました。



閉幕した万博

三栄電気工業(株) 山口 明子さん

見せる、魅せる電気(照明)。



青空のもと輝く未来

三宝電機(株) 藤井 弘久さん

夜間点灯確認検査中、目にした風景にしばし心が和らぎました。(横浜みなとみらいで撮影)

神戸港の灯り

(一社)大阪電業協会 事務局 木下 真澄さん

神戸ハーバーランドの夜景に輝く電気設備。つくり、まもる人々の技術が暮らしと感動を照らしています。



秋夜を支える職人魂

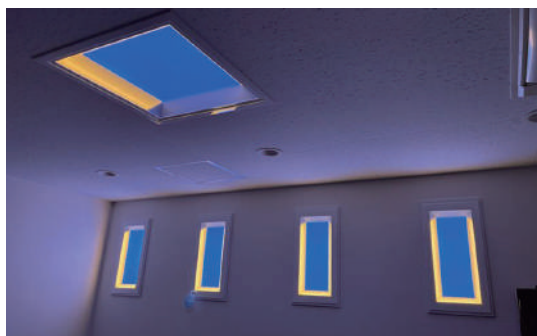
マルヤ電気(株) 丸谷 祐奈さん

清水寺と夜の紅葉ライトアップ、秋を感じました。この美しさは電工さんのおかげです。

まるで本物の青空

マルヤ電気(株) 田口 晴義さん

窓がない部屋でも天窗みたいな照明器具。



普段見ることができない景色

マルヤ電気(株) 赤井 孝男さん

道路照明は、日々皆様の運転を見守っています。

旧豊郷小学校ライトアップ

(株)関電工 関西支店 脇谷 英知さん

滋賀県豊郷町の旧小学校。ライトアップにより映し出されたその姿は、まさに芸術品のようでした。



夕暮れ時のライトアップ

(株)関電工 関西支店 出口 恭子さん

夕方の鶴見緑地公園。大池のライトアップと自然の美しさが融合され、とても幻想的でした。



歴史と文化の息づかいを感じる街 「東京都文京区」

三宝電機株式会社
嘉納 秀憲



「ふるさと」と聞いて、多くの人は生まれ育った土地を思い浮かべると思います。私の場合、出生地は東京都杉並区ですが、すぐに兵庫県に引っ越したと聞いています。小学校1年は兵庫県西宮市、小学校2年から5年までは東京都文京区、小学校6年は兵庫県神戸市、その後は中学から大学までの10年間を兵庫県芦屋市で過ごしました。

大学院はアメリカのボストン、就職後は東京が長く、そして現在は大阪と、気がつけば10回以上の引っ越しを重ねてきました。

今回、私のふるさとを執筆するにあたり「ふるさとはどこか」と自問した際、迷わず「東京都文京区」が思い出されました。わずか4年間の滞在でしたが、小学校2年から5年という多感な時期を過ごした文京区での記憶は、今も鮮明に心に残っています。

友達と走り回った通学路、家族と歩いた街並み、季節ごとの空気や匂いまで、思い出だけで懐かしさが胸に広がります。

ふるさと自慢 1 文京区という街

文京区は、東京23区のほぼ中央に位置し、名前の通り「文の京（みやこ）」と呼ばれる、学問と文化の香り高い街です。東京大学をはじめ、多くの大学や学校が集まり、古くから教育・文化の中心地として発展してきました。

一方で、小石川後楽園や六義園など、江戸時代から続く庭園も点在し、都会の中にありながら緑と歴史を感じられる落ち着いた雰囲気を持っています。にぎやかさよりも、品のある静けさが似合う街、それが文京区の魅力だと思います。

ふるさと自慢 2 誠之（せいし）小学校

私が通っていたのは、文京区立誠之小学校です。2025年に開校150周年を迎えた歴史のある学校で、地域の人々からも大切にされてきました。

現在の校舎は新しく建て替えられていますが、昔の校舎の佇まいにはどこか重みがあり「この学校で何世代もの子どもたちが学んできたのだ」と思うと、自然と背筋が伸びたことを覚えています。

先生方は温かく、友達にも恵まれ、毎日学校へ行くのが楽しみでした。運動会や学芸会、校庭での休み時間の遊びなど、どれもが今の私の土台を作ってくれた大切な思い出です。

150年という長い歴史の中のほんの4年間ではありますが、誠之小学校で過ごした日々は、私の人生の原風景と言っても過言ではありません。

ふるさと自慢 3 ファミール本郷

文京区在住時の住まいは「ファミール本郷」でした。父は当社に入社する前は、商社・丸紅に勤めており、この物件の仕事にも関わっていたと聞いています。1975年3月竣工、つまり今年で築50年超になりますが、今も現役で使われており、写真をご覧くださいただければ、その存在感を感じていただけたと思います。

このマンションには、何気ない日常の思い出が詰まっています。窓から見た今は無き後楽園球場。学校の同級生も多く住んでいたのも、お互いの部屋を行き来していたものです。特別な出来事よりも、そうした「普通の



毎日」こそが、後になって一番懐かしく思い出されるものなのだと、年を重ねるごとに実感します。

ふるさと 目標 4 東京大学

自宅の前には東京大学農学部があり、私たち子どもにとっては絶好の遊び場でした。広い構内を走り回り、友達と探検ごっこをしたり、木陰で休んだり、まるで大きな公園のように感じていました。

今回掲載する写真は東京大学正門前で撮影したもので、背景には有名な安田講堂が写っています。あの場所で遊んでいた子どもが、まさか自分の人生を振り返りながら文章を書くようになるとは、当時は夢にも思いませんでした。

ちなみに、関西に引っ越さず文京区で育っていれば「きっと東大に入学していたと思います」と言いたいところですが、これはあくまで“希望的観測”です。

ふるさと 目標 5 ニコライ堂 (東京復活大聖堂教会)

文京区の名所のひとつに、ニコライ堂 (東京復活大聖堂教会) があります。白い壁と緑のドーム屋根が印象的なこの建物は、ロシア正教会の大聖堂として知られ、明

治時代に建てられました。

異国情緒あふれるその姿は、日本の街並みの中でもひととき目を引き、訪れるたびに「ここは本当に東京なのだろうか」と不思議な気持ちになります。歴史と文化が自然に溶け込んでいる点も、文京区らしさのひとつだと思います。

おわりに

こうして振り返ってみると、文京区で過ごした4年間は、私の人生の中でとても大きな意味を持っていることに気づきます。引っ越しを重ね、多くの街で過ごしたからこそ「心に残る場所」がどれほど大切なのか、よりはっきりと分かるようになりました。

文京区は、歴史ある学校や建物、緑豊かな庭園、そして落ち着いた街並みが共存する、実に魅力的な街です。もし機会があれば、ぜひ一度訪れてみてください。きっと、歩くだけで歴史と文化の息づかいを感じられるはずですよ。

そして、私のふるさとであるこの街を、少しでも身近に感じていただけたら、これ以上うれしいことはありません。



4

- 1: 誠之小学校
- 2・3: ファミール本郷
- 4・5: 東京大学
- 6: ニコライ堂



5



6



実業団駅伝の”ミカタ”

エクシオグループ株式会社
関西支店 田中 幸治



今年元旦のニューイヤー駅伝は、創部10年目のGMOインターネットが大会新記録で初優勝しました。箱根駅伝で活躍した選手が様々な実業団チームに加入し、今や実業団駅伝は、強豪型・新興型・伝統（育成）型など、群雄割拠で面白い時代になってきています。

会員企業の中には、陸上チームを持たれているところもありますし、たくさんの方々に1年のシーズンを通して面白く応援してもらえるよう、前職で陸上素人なのに陸上部長をやった経験から、実業団駅伝の“見方”をお伝えしたいと思います。

陸上選手にとって実業団は最高峰

陸上競技選手は殆どがアマチュアですが、それでも長距離エリートランナーは800～900名と、プロ野球の支配下登録選手数とほぼ同じであり、ここ（実業団）が世界を目指す最高峰になります。

チームスポーツでは、ポジションごとに出場機会を求め有力選手は分散し、チーム力が拮抗するのですが、陸上においては、現役時代に生涯年収分を稼ぐ可能性があるプロと違い、ほとんどの選手は自分を強くしてくれる（強いメンバーが多い）練習環境を求め、またセカンドキャリア（陸上指導者か社業専念か）も意識しながら所属先を考え、有力選手は強いチームに集まる傾向があります。

選手層の薄い伝統（育成）型のチームが駅伝で上位進出するためには、1年間の目標、強化プログラム、そして選手のピーキングなど完璧なマネジメントで全てをばっちり揃えないと実現しませんので、そのための努力を推し量ると、より面白味は増すと思います。

春は新たに！

箱根で活躍した新卒部員や移籍選手などが新たに加入し、それぞれのチーム力が大きく変わってきます。

この時期に日本選手権が開催され、直前までの実績（持ちタイム）で出場の可否が決まります。例えば、今年の

5,000mの参加資格は13:38:00で、90名の選ばれしエリートランナーが出場しました。

10年前は13:48:00でしたので、年々求められるレベルが上がっているところが、今の陸上界の進歩に繋がっていると思います。

夏は鍛えて！

夏になると、北海道や長野の高地など、涼しいところでの合宿に入ります。しっかり身体を作り、来るシーズンを通して、まさに走り抜けられる体力をつけることとなります。

長期間の合宿であり、チームとして、まあまあの予算が必要になります。私が「体を鍛えるのなら、関西の暑さの中で練習するのが一番いいんじゃないか」と素人質問をすると、数日は可能だが、徐々に疲れが溜まり、負荷の高い練習ができなくなり、結果的に非効率な練習になると一蹴されました。

確かに、そんなチーム運営をしていると、有力学生選手はみんな毛嫌いして入社してくれなくなります(笑)。

秋は仕上げで！

秋になると、企業や大学主催で記録会が開催され、各選手とも仕上がり具合を確認していきます。11月に入ると各地区駅伝大会（＝ニューイヤー予選）がありますので、この流れで出場選手7人を選んでいきます。

私が携っていた頃は、5,000mで14分前半、10,000mで28分台を目安に考えていましたが、トレーニング方法やシューズが進化し、前述しましたように全体の記録は伸びていますので、それぞれ30秒～1分短くしないと勝負になりません。

冬は本番！

いよいよニューイヤー駅伝ですが、その前にやっかいなのが12月の福岡国際マラソンです。この大会で結果を出すことによってMGC（オリンピック予選）に繋がり、



第65回関西実業団駅伝大会（2022年）で優勝



東京パラリンピックのマラソンで銅メダルを獲得した堀越信司選手と

日本のマラソン第一人者にもなれるのですが、激走した半月後のニューイヤー駅伝で再度ピークに持ってくることは不可能です。

私の場合は悩みに悩み、駅伝優先で別のマラソンに回ってもらってました。選手ファーストではなかったのですが、今でも正しかったのか後悔が少し残っています。

そして年が明けてニューイヤー駅伝

群馬県庁前スタートで高崎、伊勢崎、大田、桐生をグルッと周って県庁に戻る7区間100kmです。

例年、赤城おろしが吹き荒れるので、前半3区までの追い風スピード勝負で流れを作り、後半は向かい風の中、粘りで少しでも前の集団に食らいついていくことがセオリーになります。

残念ながら、後半にドラマティックな逆転は起こらないのがニューイヤー駅伝です。

1区は後半まで集団走になりますので、最後に抜け出しチームに勢いをつけるか、順位に関係なく秒差で2区につなぐことが役割です。今年もロジスティードの富田峻平選手がトップで勢いをつけ、優勝したGMOの吉田祐也選手は、区間9位ながら5秒差で2区につなげています。

2区は、以前の2区(インターナショナル区間)と3区を足した新エース区間になります。各チームのエースの好不調で簡単に2~3分は差が付きますので、この区間の終わった段階での順位が勝敗を左右すると言っても過言ではありません。

GMOの今江 勇人選手が区間2位の快走を見せ、チームをトップへと押し上げ、優勝を大きく引き寄せました。逆に、優勝してもおかしくない強豪の富

士通・SUBARUは、エースの不調が結果に影響してしまいました。

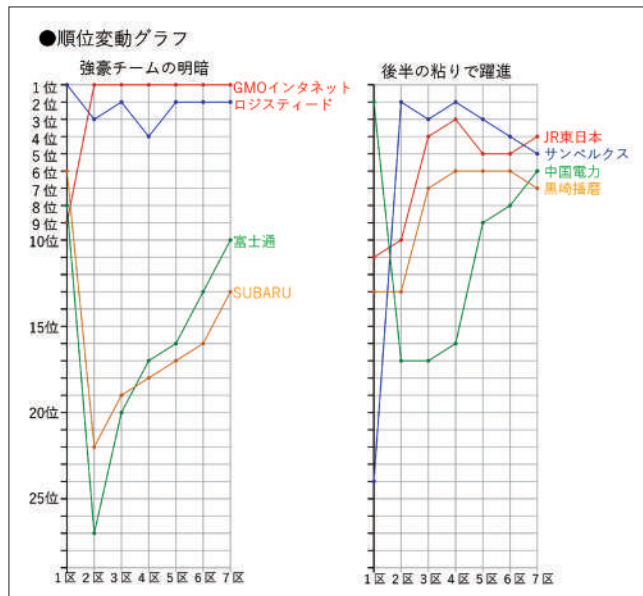
3区はスピードランナー揃いで、2区の流れを加速します。今年は駒沢大学出身で富士通の篠原 倅太朗選手が、区間新記録で衝撃的な実業団デビューを果たしました。

4区はインターナショナル区間です。以前は2区でしたが、世界レベルの走りで早々に勝負を決してしまうこともあり、駅伝の醍醐味をなくしているとして区間変更になりました。

確かに、外国人選手の影響は薄まったように感じます。

5区、6区、7区はとにかく粘りの区間で、ブレーキなく流れを維持することが重要です。例年は向かい風でそれほど順位変動は起こらないのですが、今年は穏やかな天候で風もなく、各区で新記録が出るなど見応えがありました。

JR東日本、サンベルクス、中国電力、黒崎播磨が、これら区間の粘りで強豪チームと競い合い4~7位に入賞されたことは、狙いどおりのゲームプランでマネジメント冥利に尽きると思います。



めぐり巡って

ニューイヤー駅伝が終わると、来期のチーム構想から外れる選手は引退を告げられ、セカンドキャリアへ移行することになります。

ラグビーのような組織スポーツと違って、陸上選手はビジネスマンに向かないと言われていますが、小さい頃から足が速く陸上に興味を持ち、暑い日も寒い日も日の出前に誰よりも早く起きて、ケガと背中合わせで常に自分の身体と向き合い、修行僧のように陸上道を追求してきた人達です。

誰にも真似できない努力ができる能力が、セカンドキャリアでも生きることを切に願い、いつまでも実業団駅伝の「味方」でいたいと思います。

製造業支援ソリューション 「グロサポ」の構築と市場展開

キーワード:DX、生産性改善、新規事業

住友電設株式会社 情報通信システム事業部 新規事業推進室 大橋 正和

1. はじめに

日本の根幹産業は製造業であるが、その99.5%は中小企業である。中小企業は原材料高、労働力不足、海外との価格競争にさらされている中で、生産性の向上は急務の課題である。

そのような状況にも関わらず、中小製造業でのIT化率は依然低い状態で推移している。一方、FA市場でのデジタルトランスフォーメーション（以下DXと

表記）への関心は高く、中小企業でも73.2%が導入を望むという統計がある。

一方で当社の状況に目を向けるとネットワークインフラ工事は堅調に推移しているものの、今後の年間成長性は1%程度と低く、新たな成長分野の開拓と、収益の安定性を高めるためストックビジネスの拡大が急務であった。

2. グロサポとは

2.1 グロサポの概要

本サービスでは、製造業の成長とは継続的に利益を生み出せる状態と定義し、グロサポはお客様に伴走しながら成長を支援するサービスである。

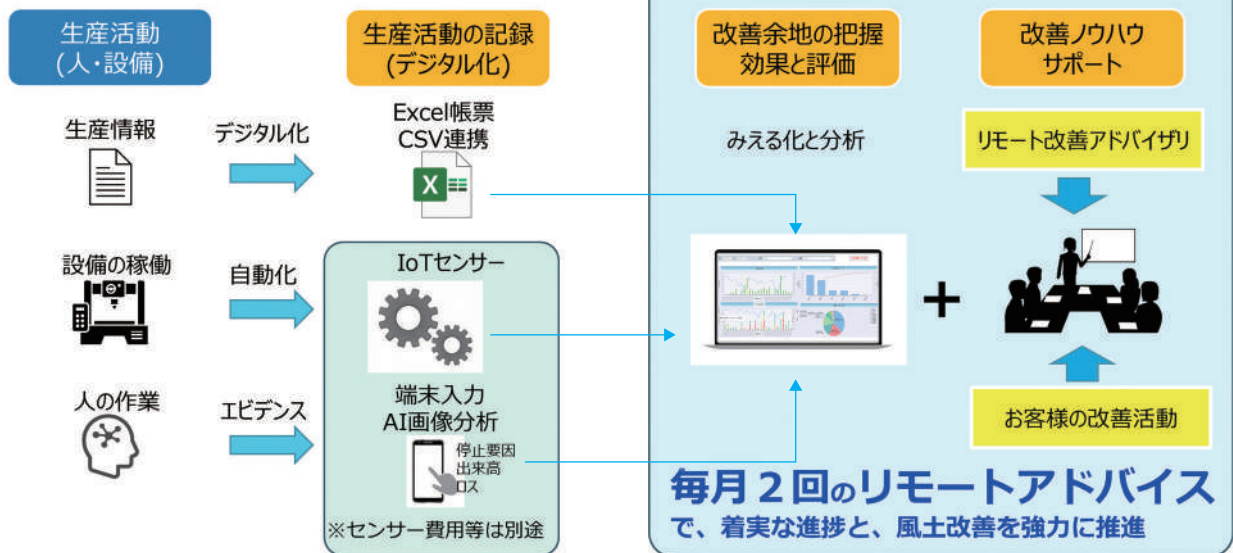


図1. グロサポの仕組み

製造に伴うデータをセンサーで収集し、顧客の目的を達成するためにデータの可視化および分析を実施する。さらに顧客の目標に対して、グロサポで分析したデータを具体的な活用方法について、毎月2回専門家がアドバイスすることで確実に成果につなげるサービ

スである。当社は全体の企画、マーケティングを担い、可視化と分析部分をシステム会社へ、具体的なアドバイス部分は製造業専門コンサルタント会社に委託し、3社での協力体制を構築した。

2.2 グロサポの価値

グロサポの価値は、顧客の目的に寄り添い、目的を実現するための活動を具体的な数値を基に提案し、確実に目標を達成できるところにある。多くの顧客企業では日々改善活動を実施しているものの、「論理的に進める」という部分が出来ていない企業が多い。

また、DXを進めたいと考えてはいるものの、実際に始めるとなると、何から始めればよいか、費用対効果はどうか、など検討事項も多く、迅速な推進が難しい。また、ITに精通した人材が少ないという課題を抱える中小企業も多い。

グロサポは、データ収集、分析、具体的改善アドバイスをワンストップで提供することで、顧客が抱える

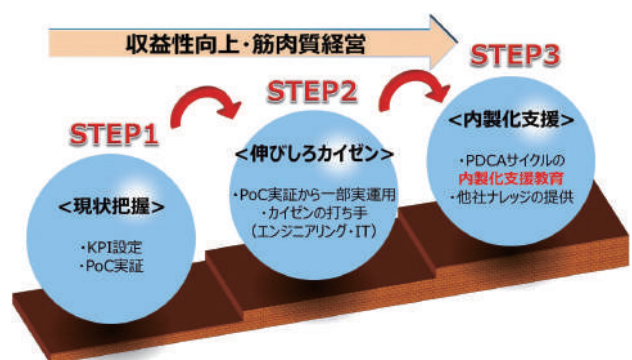


図2. グロサポの特徴 (伴走サービス)

課題を解決する。中小製造業でも事実に基づいた効率的で効果的な改善活動を楽しむことができ、目標に到達できるシステムを提供する。

市場には可視化分析サービスは多くあるが、中小企

業向けの、伴走型で具体的なアドバイスまで一気通貫で対応できるサービスは少ない。グロサポを活用することで、大企業でなくてもデータ分析や効果的な改善活動が可能となる。

3. 「グロサポ」ソリューションの構築に向けた活動

3. 1 「グロサポ」ビジネス構築に向けた仮説

グロサポは、既存事業とは異なり、サービスを販売するものであり、中小企業向けDXという市場開拓も必要なビジネスである。大企業は継続的なDXの導入、改善活動が、自社を強くすることを理解しているが、中小企業は目先の課題を解決することに精一杯で、本来やるべきDXや改善活動が推進できていない。

中小製造業に関する市場は継続的に拡大すると予測され、後発である当社でも参入できると判断した。

また、グロサポを通して顧客との関係を深めることで、既存事業への誘導も可能であると判断した。ただし、当社には製造業に対するノウハウがないことからこの課題を克服する必要があった。

3. 2 「グロサポ」のサービス検討

IoTを用いた可視化、分析、具体的なデータの活用を軸に、顧客の収益性を上げることがグロサポのサービスと定義した。一般的な見える化ソリューションは、データを可視化し、その改善を顧客にゆだねる。また、コンサルティングサービスは、具体的な改善に

ついて、活動の指導を行うが、改善に必要な数値データの収集は顧客にゆだねられる。グロサポはその両方を同時にカバーし、ワンストップでサービスを提供することとした。

3. 3 サービス構築に向けた体制整備

当社の弱みを補完してサービスを提供するため、以下の対策を実施した。

(1) 製造業に知見のあるコンサルタント、アプリ開発企業との連携

当社の弱みである、システム開発とコンサル部分をコンサルタント専門業者との連携で補完することとした。3社で弱点を補完することで、中小企業向け伴走型支援システムを提供できる体制を整えた。

(2) 製造業経験者のキャリア採用

企画、営業を行う当社が業界を理解する必要が

あり、製造業で改善に取り組んでいた人材の登用を計画した。キャリア採用として、電子部品製造企業で、生産技術、ITを経験してきた人材を登用し、推進体制を整えることができた。

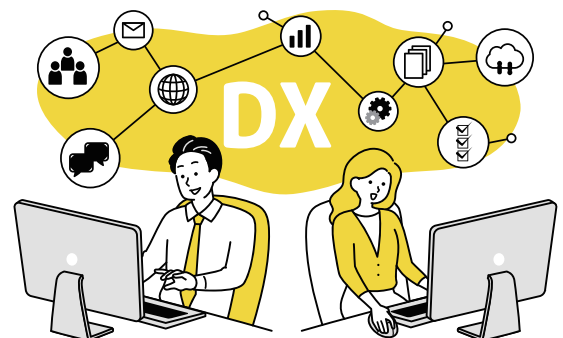
(3) IoT機器ベンダーとの連携

IoT機器の調達は、IoTメーカーに依頼することとした。小規模のメーカーであるが、自社のコア事業であるセンサー製造現場で実際に活用している実績と、比較的廉価でカスタマイズ対応が可能であることから採用した。

3. 4 「グロサポ」の販売戦略

DXを導入しやすい業種として、金属加工、機械部品、電子部品製造、プラスチック製造に絞り、特に需要が見込めそうな中堅企業(従業員100名以上)をターゲット市場(約8000社)とした。営業本部と連携し既存顧客への展開を図り、イベントでリードを獲得すること、また連携する2社からの顧客誘導を想定した。

価格設定については、一番大きなコストはシステム会社が提供するSaaS (Software as a Service) で年間5,000万円のコストがかかり、当社営業人件費、広報宣伝費を勘案すると、3年後に黒字化を行うためには、年間300万円(25万円/月)で、3年間で100シ



ステムの納入が必要と試算した。小規模実験に向けたプレ営業で価格が妥当であると判断し計画を進めた。

3. 5 「グロサポ」の実証実験

グロサポリリースに向け2023年1月より小規模実証実験を開始した。顧客は、①機械部品製造企業②食品製造企業③電気設備製作企業の3社を対象に実施した。各社の課題についてヒアリングを行い、実証実験を開始した。

①②の企業は、想定した顧客層に合致した企業で、想定通りのニーズを抱えていた。①機械部品製造企業は、社内の生産性が低いため、外注を多用しており、改善を進めるもなかなか効果が出せないという課題があった。②食品製造企業は、データは大量に収集され

ているが、そのデータを有効に活用できていない状態であった。③電気設備製作企業は、人時生産性に課題があり、製造にかかる実コストが管理できていないという課題があった。

各社とも計画通り実証実験を進めることができた。グロサポの機能実装、各社の課題を分析、改善支援を実施することができた。今回の実証実験を通して、グロサポに必要な機能確認、各社のフォーメーション、情報共有の方法の確認を行うことができた。

4. グロサポ導入実績

2023年4月にグロサポをリリースしてから現在まで、累積で4社にサービス提供を実施した。各顧客に

おける、特徴と評価、課題をまとめる。

4. 1 機械部品製造企業 (2023/4-2024/3)

設備稼働率が低いにも関わらず、外注への発注が多く、設備稼働率を上げ、外払いを削減して利益を向上させたいとのニーズがあった。グロサポ活用にあたり、NC (Numerical Control) マシン5台の積層信号灯に光センサーを設置、各設備に停止原因入力を行う押しボタンを設置して、設備の稼働率、停止原因を分析した。

その結果、各設備の停止要因が数値として把握でき、コンサルが適切な改善を指導することで、設備稼

働率の向上による効果は計算上700万円/年となり、費用対効果を提示できた。しかし、その結果生み出した余力時間を具体的な収益につなげることができず解約となった。本件は、経営コンサル範囲でグロサポの範囲外である。

教訓として、費用対効果を要望される場合は、経営責任者を巻き込んだ推進が必須であると認識し、以後、顧客と推進体制を決定する際に必ず目標とその責任者を明確にすることとした。

4. 2 食品製造企業 (2023/7-継続中)

サプリメントの出荷が好調で、数種の製品を製造しているが、ライン停止も多く種類によって、目標の能力を発揮できていない課題があった。2025年度に新設備に更新予定があり、それまでに最適なラインを作り、設備更新に反映させたいという目的で、グロサポの分析力を期待され導入した。

ライン上の設備に光センサー、停止要因を判断する押しボタン、赤外線センサーを設置。各設備別に製造

能力を分析した結果、ボトル供給装置と錠剤をボトルに入れる装置がネックとなっていることを明らかにした。顧客社内での生産関連報告会でも、グロサポデータを活用しており、高い評価を得た。

2025年度に設備更新を実施する予定であり、更新後の効果測定や新たな課題に向けサービス提供を継続する。

4. 3 自動車部品製造会社 (2024/4-継続中)

ラインの徹底した効率化を目的に導入。4人で実施していた工程を3人で実施したいとの要望。該当工場は、海外工場のモデル工場、本工場での対策を海外でも活用したい。まずは当工場で模範となるライン(チャンピオンライン)を作ることにした。

接点センサーで各作業時間を測定しそのバラつきを分析し、その結果をもとに工程を組み換えた結果、今まで4名で実施していた組み立て作業を、3名で実施することができた。この実績を高く評価され、次項で述べる関連会社への紹介につながった。

4. 4 自動車部品製造会社 (2025/4-継続中)※新バージョンで提供

ラインバランスを整え、能率を上げたいとの要望で、前述の企業での実績から採用された。上記の工場と異なり、製造品種が複数あり製造品種毎の管理が必要となった。データベース(DB)の見直しを行い、

品種毎のサイクルタイムを計画値と比較する仕組みを導入した。その結果、他社でも使用できる汎用性を持たせることが可能となった。

5. グロサポ反省と対策

実証実験などの課題を克服するため、サービス内容、アーキテクチャーを大幅に見直す決断をした。合わせて、コンサル部分をオプション化することで、コンサルを必要としない顧客の導入障壁を低減した。

クラウドを委託会社から自社クラウドに変更、ソフトウェアを内製化することで、大幅なコスト削減を实

現し、併せて販売価格も低廉化(25万円/月→15万円/月)。内製化により、カスタマイズが容易になり、汎用性を向上させることができた。

新バージョンは自動車部品製造会社2社にサービス提供をしており、そのカスタマイズ性を評価いただいている。

6. まとめ

グロサポは、自社でソリューション開発、市場開拓から実施するなど、今までにない新規性の高い取り組みであった。サービス開始からの2年でノウハウを積み、課題解決に向け内製化、メニュー変更を行うなど改革を進めることができた。

まだ、目標に達するには距離があるが、営業支援企

業との連携など新しい取り組みを積極的に進めるとともに、AIなどの先端技術を積極的に取り込み、技術面でも新しいチャレンジを進めることで、顧客数を拡大し、利益の向上および技術獲得に寄与できる事業としたい。

第580回理事会

日時 9月24日(水) 14:00~15:40
場所 中央電気倶楽部 3F 317会議室
(大阪市北区堂島浜2-1-25)

第1号議案 各委員会事業報告

【総務委員会】

- 第32回 大阪府建設業暴力追放推進大会
開催日 9月16日(火)
場所 建設交流館8F グリーンホール
参加者 役員会社 27社 50名
- 「優秀建設施工者」大阪府知事表彰(候補者の推薦依頼)
9月8日、メールマガジンによる案内を開始(10月17日締切)
- 永年勤続者表彰(対象者の申請依頼)
9月4日、メールマガジンによる案内を開始(10月10日締切)
- 第73回 通常総会(2026年6月)開催日程・会場の選定協議の結果 6月16日(火) 帝国ホテル大阪に決定

【経営委員会】

- 大阪電業協会 防災協定連絡網の更新
防災協定連絡網の更新内容を確認、大阪府へ届出済
- 大阪府下衛星都市への分離発注陳情
発注機関との直接対話の機会として、陳情先・訪問分担・陳情書面等の確認を実施
- 公共工事発注機関との意見交換
出席者調整と質疑検討を実施
- 青年部会の活動報告
事業予定は以下のとおり
・研修会:9月26日(火) 大阪国際交流センター
・レクリエーション活動:10月25日(土) 食と自然のテーマパークかさや
・デイキャンプ活動:11月8日(土) 羽衣青少年センター他
・年末反省会:11月28日(金) 鳥よし本店
・スポーツ大会:2026年2月14日(土) マグスミノエボウル
- 働き方改革推進WG 活動報告
日空衛、電設協との共同要請事項(案)について検討を実施

【技術・技能委員会】

- 第53回 電気工事士技能競技大会
実施要領、競技説明、審査手順、選手への案内(前日、当日)運営役割分担、自衛消防隊編成表、緊急連絡体制、大会アンケート等について協議・確認を実施
- 2025年度東京電業協会技能競視察
10月28日(火) 東京武道館に、専門委員2名派遣予定

【労務・安全委員会】

- 2025年度 登録電気工事基幹技能者認定講習
開催日 10月25日(土)、26日(日)
場所 エル・おおさか 南館5F南ホール
受講者 76名(募集定員 80名)

- 2025年度 職長教育
開催日 11月19日(水)、20日(木)
場所 大阪電業協会 会議室
募集 30名
- 2025年度 実技講習
講習テーマ:シーケンス制御の基礎
開催日 12月9日(火)~10日(水)(定員15名)
12月18日(木)~19日(金)(定員15名)
講習テーマ:受変電設備の概要と停電・復電操作
開催日 2026年1月6日(火)~7日(水)(定員18名)

【広報委員会】

- 会報関連
(1) 出版部会(会報 秋季号編集)の開催報告
7月8日・8月21日 2回の部会開催結果(秋季号編集の進捗状況)報告
(2) 第6回フォト自慢
・投稿写真総数 27点(11社 23名)
・広報委員会による投票、審査結果 大賞1点以下3点の入賞作品を決定
(3) 会報寄稿(私のふるさと)依頼
2026年3月号から4回分の執筆者を決定
- 電気工事士技能競技大会(府内工業系高校等への見学案内)
案内先を府内工業系高校(出場予定の7校)・専門学校、職業訓練校に限定
- 電気工学系大学生施設見学
(1) 見学先
①日鉄鋼板SGLスタジアム尼崎(阪神タイガースファーム本拠地)
開催日 11月11日(火) 受入人数 最大30名
②栗原工業(株)本社ビル設備見学
日程調整のうえ、随時開催可能
(2) 案内対象校・担当企業
前回案内先16校に3校を加え19校とし、担当企業を決定

【中小部会】

- 人材育成事業
(1) 1級電気施工管理技士資格取得集中講習
・1次検定試験対策講習会受講者の受験結果
受講者 22名 合格者11名 全国平均 41.5%を上回った
・2次検定試験対策講習会
開催日程 9月27日、10月4日、11日の各土曜日、計3日間予定
定員20名に対し応募者12名
(2) 中小部会独自の安全教育
開催日 10月20日(月)
対象 中小会員企業の代表者、現場代理人、総務担当者
参加者 定員38名に対し申込22名
(3) 退職者を減らす退職者防止策
マルヤ電気(株)丸谷社長から、自社対策事例の紹介があった
- 経営力強化事業
(1) 積算業務基礎講習

開催日 10月23日(木)、30日(木)

定員 20名

(2) IT化による業務効率化

中小部会14社に実施したアンケート集約結果の報告があった

3. 新たな成長への関係創り

(1) 中小会員企業・部課長クラス企業間の情報交換

開催日 8月22日(金)

テーマ 外国人材とのコミュニケーションとマネジメントのポイント

講師 千葉 祐大 様 キャリアマネジメント研究所 代表理事

参加者 13社 32名

【資材部会】

1. 会員企業見学会

開催日 11月7日(金)

場所 日新電機本社工場及び研修センター (京都市右京区)

募集 40名(先着順)

2. JECA FAIR製品コンクール入賞製品等の展示

製品、工具展示 4社

感電体験コーナー 1社

【人材部会】

1. 電気設備業界 Presents就活応援イベント

(1) 8月29日就活応援イベント結果

「来場学生集計」「来場履歴」「来場学生アンケート集計」「出展企業アンケート集計」をもとに、開催評価・次回以降に向けた改善事項の検討を実施

(2) 次回(12月13日)開催への変更点

最終回まで訪問する学生の増加を狙い、6社訪問時のQUOカード支給額を500円増額(3,500円)

(3) 12月13日就活応援イベントの準備状況

出展企業募集: 9月16日(火) 9時~

9月19日(金) 17時(先着順)

9月16日(火) 10時過ぎに募集数(27社)に到達

2. 大学・高校との意見交換

開催時期の検討を実施

3. 出前授業対応

・7月14日(月)

東大阪技専校 電気工学科23名: (株)盛永電気工業所

・8月28日(木)

都島工業高校(定時制) 電気科7名: 昭和電業(株)

4. 行政等主催行事への対応

おもじょぶ就職フェア

開催日 9月27日(土)

場所 梅田サウスホール

出展 8月29日就活応援イベント出展企業から6社

第2号議案 専門委員任命

1. 専門委員選任(技術・技能委員会)

(株)きんでん 西尾 徹専門委員の後任として、同社 平井 明氏を推挙

2. 会員入会申請

(株)TAKイーヴァック大阪支店の入会を承認

3. 会費改定検討

土井専務理事から会費改定方針について説明があり、続いて富永総務委員長から、理事会に先立ち開催

された常任理事会の協議結果について説明があった

第3号議案 その他

大阪電業協会および日本電設工業協会の今後の主要行事日程の説明があった

業務報告

行政通達(7月23日~9月23日)

第581回理事会

日時 11月20日(木) 14:00~15:00

場所 ホテル阪急インターナショナル 4F「紫苑の間」(大阪市北区茶屋町19-19)

第1号議案 各委員会事業報告

【総務委員会】

1. 永年勤続者表彰

申請者 19社 47名(非該当なし)

表彰式 2026年1月19日(月)

場所 シェラトン都ホテル大阪 3F「明日香の間」

2. 「優秀建設施工者」大阪府知事表彰

熟練工部門3名、青年部門1名の推薦があり、本会推薦候補者を以下のとおり決定

・熟練工部門 浜田電気工業(株) 板谷 和也 氏

・青年部門 NDK西日本電設(株)

(日本電設工業(株) 協力会社) 渡邊 諭 氏

3. 新春賀詞交歓会

開催日 2026年1月19日(月)

場所 シェラトン都ホテル大阪4F「浪速の間」

開催案内は、11月6日(木)メールマガジンにより発信済

4. 在阪建築16団体合同新年交礼会

開催日 2026年1月5日(月)

場所 リーガロイヤルホテル2F「山楽の間」

会費 3,000円から4,000円に増額

【経営委員会】

1. 公共工事発注機関との意見交換

・西日本高速道路株式会社: 11月10日(月) 実施済
出席者: 電設協 関西、中国、四国、九州各支部

・大阪府都市整備部住宅建築局 公共建築室設備課:
11月17日(月) 実施済

出席者: 大阪電業協会 経営委員会

・近畿地方整備局 営繕部: 12月3日(水)

出席者: 大阪電業協会 経営委員会、京都、滋賀、奈良、兵庫、和歌山電業協会

2. 関係先安全教育への講師派遣

開催日 8月20日(水)

関係先 西日本高速道路エンジニアリング関西(株)

講師 住友電設(株)

3. 青年部会の活動報告

【活動結果】

(1) 会員企業社員向け研修

開催日 9月26日(金)

場所 大阪国際交流センター 小ホール

テーマ 「個を活かすコミュニケーションの極意」

講師 キャリアアップ・ラボ(株) 井上 舞 様

参加者 51社 95名

(2) レクリエーション活動

開催日 10月25日(土)
場 所 食と自然のテーマパークかさや
内 容 椎茸・黒枝豆狩り、BBQ他
参加者 91名(うち、子供26名)

(3) 養護施設児童とのデイキャンプ活動

開催日 11月8日(土)
場 所 羽衣青少年センター他
内 容 午前:カレーライス作り、午後:スポーツ大会
参加者 181名(うち、泉州堺ブロック4~6年生
76名、教員21名)

【活動予定】

- ・日本赤十字社寄付金贈呈式 2026年2月下旬~3月予定
- ・図書カード贈呈式 2026年3月予定
- ・2026年度 年次総会 2026年5月13日(水)

【技術・技能委員会】

1. 第53回 電気工事士技能競技大会
開催日 10月16日(木)
場 所 マイドームおおさか2F B・C・Dホール
出場者 一般の部 20社 26名
 高校生の部 8校 16名
2. 第54回 電気工事士技能競技大会
開催日 2026年10月28日(水)
場 所 マイドームおおさか2F(ほぼ確定)
3. 東京電業協会主催第58回 電気工事士技能競技大会視察
開催日 10月28日(火)
場 所 東京武道館
視察者 居安専門委員、杉本専門委員

【労務・安全委員会】

1. 2025年度 登録電気工事基幹技能者 認定講習会
開催日 10月25日(土)、26日(日)
場 所 エル・おおさか 南館5F南ホール
受講者 75名+修了試験1名 計76名
2. 2025年度 職長教育
開催日 11月19日(水)、20日(木)
場 所 大阪電業協会 会議室
受講者 11社 23名
3. 2025年度 実技講習会
シーケンス制御の基礎
・12月9日(火)、10日(水)
参加者 15名(大阪5、兵庫9、和歌山1)
・12月18日(木)、19日(金)
定員15名
受変電設備の概要と停電・復電操作
・2026年1月6日(火)、7日(水)
定員18名

【広報委員会】

1. 会報関連
(1) 会報No179号(9月発行) 電子ブックへのアクセス数
大きな変動なく推移
(2) 会報No180号(2026年3月発行)
私のふるさと 嘉納理事(総務委員会 三宝電機株)
随 筆 田中理事(労務・安全委員会 エク
シオグループ株 関西支店)
(3) 出版部会開催報告

会報No180号のトピックス

- ・行政との連携(業界の魅力発信)
- ・万博TDMパートナーとしての活動

2. 電気工事士技能競技大会(高校等見学)

開催日 10月16日(木)
場 所 マイドームおおさか2F
参加校 4校 生徒 59名、引率教員 9名

3. 第32回 電気工学系大学生施設見学

開催日 11月11日(火)
場 所 ゼロカーボンベースボールパーク(阪神2軍球場)
参加校 4校 11名

【中小部会】

1. 人材育成事業

(1) 2025年度 1級電気施工管理技士資格取得集中講習
2次検定試験対策講習

開催日 9月27日、10月4日、10月11日の土曜日3日間

場 所 大阪電業協会 会議室
受講者 9名

(2) 中小部会独自の安全教育

開催日 10月20日(月)
場 所 大阪電業協会 会議室
受講者 35名
テーマ リスク発生時の対応(労働災害編)
講 師 土井専務理事

2. 経営力強化事業

(1) 積算業務基礎講習積算業務基礎講習

開催日 10月23日、10月30日の木曜日2日間
場 所 大阪電業協会 会議室
受講者 17名(男性9名、女性8名)

【人材部会】

1. 学校との意見交換 準備進捗状況

- (1) 大学電気系学科教員・キャリアセンターとの意見交換
11月21日(金) 15時~ 中央電気倶楽部
- (2) 府内工業系高校教員との意見交換
12月10日(水) 15時~ 大阪電業協会

2. 学校教育活動への参加

開催日 10月21日(火)
対象校 成城高等学校
参加者 電気情報系列 2年生 39名
講 師 中央電設株

3. 入職促進関連行事への対応

- ・11月12日(水) SNSで採用力アップ!魅力を伝える運用術
参加者 人材部会7社 18名
- ・11月17日(月) 閑空の仕事現場見学:
近畿設備株 参加者6名
- ・11月25日(火) 企業×求職者交流会:
株キンコー、近畿設備株

4. 電気設備業界 Presents 就活応援イベント

開催日 12月13日(土)
場 所 大阪産業創造館
来場事前登録が伸び悩んでおり、大学・意見交換(11月21日)で取り上げる
また、来場実績の多い学校への再訪等に手を尽くす

第2号議案 審議事項

1. 会員入会申請
(株)大洋電機製作所 大阪営業所の入会を承認
2. 事務局職員の賞与支給
2025年下期賞与支給(案)を了承
3. 会費改定検討の進捗状況
富永総務委員長から説明を行い、協議のうえ了承

第3号議案 その他

土井専務理事から、2026年大阪電業協会の主要行事日程を説明

業務報告

行政通達(9月24日～11月19日)

第582回理事会

日時 2026年2月20日(金) 14:00～14:55
場所 中央電気倶楽部 3F 317会議室
(大阪市北区堂島浜2-1-25)

第1号議案 各委員会事業報告

【総務委員会】

1. 永年勤続者表彰式
開催日 2026年1月19日(月)
場所 シェラトン都ホテル大阪 3F「明日香の間」
受彰者 19社 47名のうち27名出席
2. 外部表彰への対応
 - (1) 「優秀建設施工者」大阪府知事表彰
開催日 2026年2月5日(木)
場所 大阪府庁 5F「正庁の間」
受彰者 熟練工部門
浜田電気工業(株) 板谷 和也 氏
青年部門
NDK西日本電設(株)(日本電設工業(株)協力会社) 渡邊 諭 氏
 - (2) 電気保安功労者表彰
永年勤続の部候補者1名申請中
 - (3) 青年優秀施工者不動産・建設経済局長顕彰(建設ジュニアマスター)
1名推薦あり、資料作成中
3. 新春賀詞交歓会開催結果
開催日 2026年1月19日(月)
場所 シェラトン都ホテル大阪 4F「浪速の間」
参加者 384名(対前年18名増)

【経営委員会】

1. 大阪府下衛星都市への分離発注陳情
大阪府下42市町村への分離発注陳情を11月5日～12月2日で実施
分離発注26、一括発注16(前年からの変更なし)
2. 公共工事発注機関との意見交換
 - ・西日本高速道路株式会社
開催日 11月10日(月)
場所 ホテルエルセラウン大阪15F「スカイアトリウム」
出席者 西日本高速道路14名
日本電設工業協会 関西9名、中国1名、四国2名、九州2名

- ・大阪府都市整備部住宅建築局 公共建築室設備課
開催日 11月17日(月)
場所 大阪電業協会 会議室
出席者 大阪府4名、大阪電業協会10名
- ・近畿地方整備局 営繕部
開催日 12月3日(水)
場所 マイドームおおさか 8F 第6会議室
出席者 近畿地方整備局7名
日本電設工業協会 関西支部
大阪9名、京都2名、滋賀1名、奈良1名、兵庫2名、和歌山1名

3. 青年部会活動報告

事業報告

- (1) 年末反省会
開催日 11月28日(金)
場所 鳥よし本店
参加者 33社 51名
- (2) スポーツ大会
開催日 2026年2月14日(土)
場所 マグスミノエボウル
参加者 28社 86名

事業予定

- (1) 日本赤十字社大阪府支部 寄付金贈呈
開催日 2026年2月26日(木)
場所 日本赤十字社大阪府支部
寄付 活動資金20万円
- (2) 大阪府内児童養護施設への図書カード贈呈
開催日 2026年3月4日(水)
場所 大阪社会福祉指導センター
寄付 241,500円(161名)
- (3) 年次総会
開催日 2026年5月13日(水)
場所 ホテル日航大阪

【技術・技能委員会】

1. 第53回 電気工事士技能競技大会 一般の部事後検討会
開催日 2026年2月3日(火)
場所 大阪電業協会 会議室
出席者 大阪府・大阪市・関西電力送配電株式会社、委員会関係者
内容 大会の施工課題に関する検討(難易度、作業量、作業時間、審査方法)
2. 第54回 電気工事士技能競技大会
開催日 2026年10月28日(水)
(10/27から日程変更)
場所 マイドームおおさか 2F B・C・Dホール
課題 集合住宅 階段灯・外灯

【労務・安全委員会】

1. 新入社員研修
開催日 2026年4月6日(月)、4月7日(火)
場所 エル・おおさか 南ホール
募集 各日80名
2. 第54回 安全大会
開催日 2026年6月30日(火)
場所 建設交流館8F グリーンホール
講演 塩見 泰子 様(気象予報士)
3. 登録電気工事基幹技能者認定講習
(1) 2025年度関西支部受講結果

受講者 76名、合格者76名 (合格率100%)

(2) 2026年度計画

- ・講習 eラーニング (9月～10月)
- ・試験 CBT方式 (11月)

4. 実技講習 (きんでん学園) 開催結果

- ・テーマ「シーケンス制御の基礎」
第1回 12月9日(火)～10日(水) 受講者14名
第2回 12月18日(木)～19日(金) 受講者15名
- ・テーマ「受変電設備の概要と停電・復電操作」
第3回 2026年1月6日(火)～7日(水) 受講者18名

【広報委員会】

1. 会報No180号 (2026年3月発行) トピックス
 - ・大阪府 (OSAKAしごとフィールド) との連携
行政と連携して、業界の魅力を発信
 - ・万博TDMパートナーとしての取組み
大阪・関西万博の“おもてなし”に貢献
 - ・第7回フォト自慢
応募写真 25点 (7社22名)

【中小部会】

1. 人材育成事業
 - (1) 1級電気施工管理技士資格取得 集中講習
 - ・2025年度二次試験 9名中7名合格 (77.8%)
 - ・2026年度一次試験講習 受講予定 22名
 - (2) 中小部会独自の安全教育
 - ・2026年度「リスク発生時の対応研修」は、初の外部講師採用予定
 - (3) 退職者を減らす退職防止策
 - ・退職理由データ収集に重点をおいたシートを新たに作成し、試験運用する
 - ・退職防止取組事例の紹介 (宏電エテック株)
2. 経営力強化事業
 - (1) 社内業務の効率化
 - ・積算業務基礎講習
次年度も、積算業務未経験者向けに開催予定
 - ・IT化推進
次年度は、会員企業の関心の高いソフトを抽出し、取組み事例や講習会等により展開予定
3. 中小部会設立10周年記念祝賀会
開催日 2026年5月19日(火)
場 所 ホテルエルセラーン大阪
予 算 一部費用について、経営委員会予算に計上 (了承済)
4. 大阪市立港南中学校への出前授業
開催日 2026年3月19日(木)
講 師 中小部会 橋本部長

【資材部会】

1. JECA FAIR 2026 第74回 電設工業展

開催日 2026年5月27日(水)～29日(金)

場 所 東京ビッグサイト東ホール

テーマ 新時代を見に行こう 未来へつながる電設技術

出展者 237社 873小間

【人材部会】

1. 大阪府内工業系高校教員との意見交換
開催日 12月10日(水)
場 所 大阪電業協会 会議室
参加者 高校 10校 12名
協会 14名 (人材部会9名、中小部会2名、事務局3名)
意見交換テーマ
 - ①今年度高校生の採用状況、高校生の離職率・離職理由
 - ②高校側 (先生を含む) に期待すること
 - ③生徒の電気設備業界ミスマッチ 他
2. 大学電気系学科教員、キャリアセンターとの意見交換
開催日 11月21日(金)
場 所 中央電気倶楽部 5F 513会議室
参加者 大学 8校 10名
協会 10名 (人材部会7名、事務局3名)
意見交換テーマ
 - ①就活イベント (対面) の開催時期について
 - ②現場 (施設) 見学 (平日 午後開催) の開催時期について
 - ③直近の就活動向について 他
3. 就活応援イベント開催結果
開催日 12月13日(土)
場 所 大阪産業創造館
参加者 40名

第2号議案 審議事項

1. 会員入会申請
洸陽電気工事株式会社 (2026年4月1日付)
2. 会費改定案検討
富永委員長から説明を行い、協議のうえ了承

第3号議案 働き方改革共同要請活動

- ・大阪建設業協会
開催日 2026年2月4日(水)
場 所 大阪建設会館 5F 会議室
要請先 大阪建設業協会 銭高会長 他
- ・日本建設業連合会 関西支部
開催日 2026年2月18日(水)
場 所 KKRホテル大阪 5F「橘」
要請先 日本建設業連合会 関西支部 山下支部長 他

業務報告

行政通達 (11月20日～2026年2月19日)

会 員 往 来

2025年秋季号発刊以降に連絡をいただいた会員企業の往来情報

新規入会

《入会日》	《社 名》	《代表者名》	《所在地》
2025年10月1日	㈱TAKイーヴァック 大阪支店	中村 泰介	〒541-0056 大阪市中央区久太郎町4-1-3 TEL.06-6253-3771 FAX.06-6253-3773
2025年12月1日	㈱大洋電機製作所 大阪営業所	高須 浩一	〒542-0066 大阪市中央区瓦屋町3-6-13 南海電設㈱内2F TEL.06-6768-5511 FAX.06-6768-5511
2026年4月1日	洸陽電気工事㈱	伊藤 渉	〒596-0806 岸和田市摩湯町617-1 TEL.072-449-7340 FAX.072-449-7341

移 転

《変更日》	《社 名》	《所在地》
2025年10月1日	有吉電機工業㈱	〒550-0015 大阪市西区南堀江3-12-21 旭ビル2F TEL.06-6710-9767 FAX.06-6710-9766

社名変更

《変更日》	《新社名》	《旧社名》
2025年10月1日	ETSライン㈱ インフラ・ソリューション事業部	㈱ETSホールディングス

代表者変更

《変更日》	《社 名》	《新代表者》
2025年10月1日	有吉電機工業㈱	井上 達夫
2025年10月1日	ETSライン㈱ インフラ・ソリューション事業部	長谷川修平
2026年2月1日	日本ファシリオ㈱ 大阪本店	友田 義弘
2026年4月1日	東光電気工事㈱ 関西支社	辻尾 秀信

ビル名変更

《変更日》	《社 名》	《所在地》
2026年2月20日	㈱四電工 大阪本部	〒541-0059 大阪市中央区博労町3-3-7 ACN心斎橋アーバン9F

退 会

《退会日》	《社 名》
2026年3月31日	光徳電興㈱



大阪営業所 所長
高須 浩一

《キャッチフレーズ》

電気技術を通じて、すべての現場に安全・安心の品質と技術を届けます。

株式会社
大洋電機製作所 大阪営業所



- ◆本社所在地 大阪市中央区瓦屋町3丁目6番13号 ◆代表者 高須 浩一
- ◆設立 1974年11月 ◆資本金 5,000万円
- ◆事業内容 産業機械・プラント・各種専用機用 制御盤の設計・製作、電気工事 ◆社員数 全社89名 (2026年1月現在)
- ◆ホームページ <https://kk-taiyo-el.co.jp>



《会社紹介》

当社は名古屋に本社を構え、電気工事と制御盤製作を一体で提供できる技術力を強みに事業を展開してきました。さらなるサービス向上と対応力強化のため、2025年度に大阪営業所を開設。関西エリアのお客様へ、より迅速で細やかなサポートを提供できる体制を整え、地域に貢献してまいります。

《当社の強み》

電気工事から制御盤設計・据付・試運転まで一貫対応できる体制を強みに、幅広いご要望に迅速かつ柔軟にお応えします。環境、製造、建設、自動車、化学など多様な業界の課題に対応可能です。

《社員に求めること》

安全・品質に強いこだわりを持ち、業界動向を的確に捉えながら、主体的に学び成長し続ける姿勢を期待します。また周囲とのつながりを大切にし、協力し合いながら取り組む姿勢も重視します。

《当社が目指すところ》

大阪営業所として、お客様に寄り添いながら迅速で丁寧なサービス提供を続け、関西で信頼される拠点づくりを目指し、地域とともに成長していきます。

《大阪電業協会に求めること》

業界の共通課題に向けた取り組みや、役立つ情報の発信をさらに進めていただき、協会と会員企業が一緒に成長していける環境づくりを期待してまいります。



取締役大阪支店長
中村 泰介

《キャッチフレーズ》

大量よりも常に最良
速く 良く 確に

株式会社
TAKイーヴァック 大阪支店



- ◆本社所在地 大阪市中央区久太郎町4-1-3 ◆代表者 中村 泰介
- ◆設立 1943年12月 ◆資本金 10,000万円
- ◆事業内容 電気設備工事、給排水設備工事、空調設備工事の施工・アフターサービス ◆社員数 全社135名 支店43名 (2026年2月現在)
- ◆ホームページ <https://www.tak-e.co.jp/>



《会社紹介》

TAKイーヴァックは、竹中工務店グループの一員として、電気・給排水衛生・空調設備のトータルエンジニアリングを担う技術集団です。「より良い社会環境の創造」を掲げ、設計から施工、アフターサービスまで一貫して高品質を追求。

建物の価値と快適性を最大化するソリューションで、お客様と社会の未来に貢献しています。

《当社の強み》

竹中工務店グループで培った高度な技術力と品質基準を基盤に、複雑な設備課題にも対応できる総合力を有しています。高精度・高信頼の施工で、建物の価値向上に貢献します。

《社員に求めること》

専門性を磨き続け、技術者としての誇りを持つこと。そして、お客様の期待を超える価値を創出する姿勢を大切にしてほしいと考えています。自律と協働の精神が、当社の品質を支えています。

《当社が目指すところ》

環境配慮と技術革新を両立し、持続可能な都市づくりに貢献する企業へ。設備エンジニアリングを通じて、社会に“より良い未来”を提供し続ける存在を目指します。

《大阪電業協会に求めること》

業界の発展に資する最新技術の共有や交流機会の創出に期待しています。協会の皆さまとともに、地域の建築・設備品質のさらなる向上に取り組んでいきたいと考えています。

2026年度 主要行事予定

(一社)大阪電業協会、(一社)日本電設工業協会 関西支部

行 事	日 程	場 所
◇ 新入社員研修	4月6日(月) ～7日(火)	エル・おおさか 南ホール
◇ 第31回 積算技術講習会	4月17日(金)	エル・おおさか 南ホール
◇ 青年部会年次総会	5月13日(水)	ホテル日航大阪
◇ 第31回 積算競技大会	5月15日(金)	エル・おおさか 南ホール
◇ 中小部会設立10周年記念祝賀会	5月19日(火)	ホテルエルセラーン大阪
◇ JECA FAIR2026 第74回 電設工業展	5月27日(水) ～29日(金)	東京ビッグサイト
◇ 第73回 通常総会	6月16日(火)	帝国ホテル大阪
◇ 第54回 安全大会	6月30日(火)	建設交流館
◇ 日本電設工業協会 会員大会	10月15日(木)	富山国際会議場
◇ 電気設備業界 Presents 就活応援イベント	10月17日(土)	大阪産業創造館
◇ 第54回 電気工事士技能競技大会	10月28日(水)	マイドームおおさか
◇ 会員企業見学会	10月30日(金)	核融合科学研究所
◇ 職長教育	11月19日(木) ～20日(金)	大阪電業協会 会議室
◇ 賀詞交歓会 永年勤続者表彰式	2027年1月	3月中旬決定予定



企業と求職者をつなぐしごと体験マッチングサイト おしごとと体験ナビ



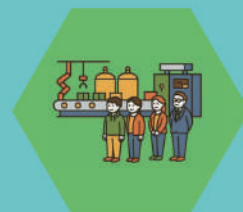
おしごとと体験ナビの特徴



掲載料、利用料
無料!



チャットで簡単に
求職者とやり取り!



体験を通して
ミスマッチを防止!

お問合せ

OSAKAしごとフィールド
☎06-4794-9198 平日 9:30~20:00
土曜 9:30~16:00

掲載のお申込はこちら ▶
おしごと体験ナビ 🔍

<https://shigotofield-taikennavi.jp/>

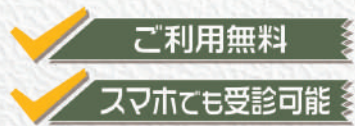


*OSAKAしごとフィールドは、大阪府就業促進課と、OSAKAしごとフィールド運営共同企業体(一般財団法人大阪労働協会、NPO法人HELLOlife、公益財団法人大阪産業局)が運営しています。
※このチラシは厚生労働省「地域活性化雇用創造プロジェクト事業」で作成しました。



大阪府

OSAKAしごとフィールド
中小企業人材支援センター



ご利用無料

スマホでも受診可能

求人への応募を
増やす

自社に合った
人材を見つける

早期離職を
防止する

人材採用・定着の ための 3つのツール

- ☑採用力診断ツール
- ☑選考支援ツール
- ☑定着支援ツール

利用企業数 **3,000社突破!**

新機能
追加!



多様な人材
活用力診断ツール

多様な人材の活用状況を可視化 できる!

貴社の「女性活躍」や「高齢者活躍」など、
多様な人材の活用状況を10問答える
だけで手軽に自己診断!

女性活躍



高齢者活躍



スマホ・PCから簡単受診!



しごとフィールド 診断ツール

<https://3kobuta.com/mikata/>



ご利用は
コチラ
から

お問合せ OSAKAしごとフィールド中小企業人材支援センター TEL.06-6910-3765

国や地方自治体が発信している情報を、
どれだけご存知ですか？

今を知る。未来の力になる。

令和8年
6月1日

全国すべての事業所・企業が対象です。

防災にもつながる
大事な調査です

経済センサス 活動調査

経済の
国勢調査



4月～5月にかけて調査票をお届けします。



回答はインターネットがおすすめです。



※この調査は統計法に基づく基幹統計調査で、調査に回答する義務があります。ご回答いただいた内容は統計作成の目的以外（税の資料など）には、絶対に使用しません。



総務省・経済産業省・都道府県・市区町村からのお知らせです。 <https://www.e-census2026.go.jp/>

経済センサス2026

検索



お問い合わせ

大阪府総務部統計課産業・労働グループ ☎06-6210-9207



組織の未来に向けて!

大阪の事業者のみなさん、
もう登録してますか?

事業者募集中

組織の成長には
いきいき職場
がポイント!

「男女いきいき」制度で、誰もが働きやすい職場環境づくりに
取り組む事業者を応援します!



- 登録要件**
- 大阪府内に事業所がある事業者(※事業者とは、企業、財団・社団法人などをさし、営利、非営利を問わない)
 - 大阪府内で2人以上の女性従業員(うち少なくとも1人は正社員)を雇用している事業者(※ただし、大阪府内に本社のある中小企業等については、経営者や役員に女性がいる場合、女性従業員の数に関わらず対象となる)
 - 男女がいきいきと働くことができる取組を行っている事業者

「男女いきいき」各種制度に関する問合せ先

登録は簡単! まずはお電話ください

☎ 06-6210-9321

大阪府 男女いきいき 検索

大阪府 府民文化部 男女参画・府民協働課
男女共同参画グループ
TEL:06-6210-9321 FAX:06-6210-9322
メール:danjo-fumin@sbox.pref.osaka.lg.jp



会員諸変更届

(西暦) 年 月 日

一般社団法人 大阪電業協会 御中

会員名

〔 1. 会員名 2. 代表者 3. 協会連絡担当者 4. 住所 5. 電話番号
6. FAX番号 7. 協会窓口 E-mailアドレス (担当者名も) 〕が

下記の通り変更になりましたのでお届けします。(変更箇所を○で囲んでください。)

旧	
新	
変更年月日	
備考	

※代表者・連絡担当者の役職もお書きください。

※代表者・連絡担当者にふりがなをつけてください。

(一社)大阪電業協会 TEL 06-6363-4077

FAX 06-6363-4079

※この用紙をコピーしてご使用ください。

キ
リ
ト
リ
線

会報リニューアル後、今回で9回目の発刊となりました。

表紙には、第53回電気工事士技能競技大会において、上位に入賞された選手の写真を掲載しています。これまで大会会場として使用してきたエディオンアリーナ大阪（大阪府立体育会館）が改修工事中のため、今回は会場をマイドームおおさかに移して開催しました。

今号では、2件のトピックス記事を掲載しています。

ひとつは、会員企業各社において登録・活動された「万博TDMパートナー」についてです。各社が様々な工夫を凝らし、大阪・関西万博の“おもてなし”に貢献されたことと思います。

また今年度は、大阪府（OSAKAしごとフィールド）との連携により、業界の魅力を発信する機会が増えたことから、その取組みに関する記事も掲載しました。

このほか、11月11日（火）には、主に大学生を対象とした施設見学を、阪神タイガースの2軍球場でもあるゼロカーボンベースボールパークで開催しました。普段はなかなか入ることのできない施設ということもあり、参加した学生の皆さんは熱心な様子で見学していました。

また、2026年新春賀詞交歓会を1月19日（月）にセラトン都ホテル大阪で開催しました。同日には永年勤続者表彰式も行われ、今年度は19社47名の方が表彰されました。

第7回となった「フォト自慢」には、22名の方から素晴らしい作品をご応募いただきました。今後も参加者の皆さまから社員の方々へ呼びかけていただき、フォト自慢をさらに盛り上げていただければ幸いです。

今後とも会報の充実に向け、皆さまのより一層のご支援・ご協力をよろしくお願い申し上げます。

（奥村 記）



Instagramフォローのお願い

2024年8月に開設した大阪電業協会Instagramは、フォロワー700名を超えました。

電気設備業界を知るきっかけを、ゆるく楽しくお届けしています。

編集委員（広報委員会）

担当副会長	横井正温	専門委員	田中晋策
常任理事	早坂稔	//	丸谷良美
広報委員長	一瓢秀次	//	田中健太郎
理事	井下智仁	//	熊迫仁士
//	植谷信之	//	小林健一
//	林拓司	//	奥村武央
//	山中幸一	//	永守将輝
//		//	中山和明
		//	幸堀真樹

魅力ある電設業界の 未来のために



一般社団法人
大阪電業協会

季刊会報

春季号(180)

発行日 2026年3月31日

発行者 広報委員会

発行所 一般社団法人 大阪電業協会

大阪市北区野崎町9番8号

永楽ニッセイビル5F

TEL.(06) 6363-4077

FAX.(06) 6363-4079

Eメール webmaster@osdenkyo.or.jp

ホームページ <https://www.osdenkyo.or.jp>



印刷所 株式会社三友社
大阪市北区同心1丁目2-10
TEL.(06) 6881-1795